



InvestHK

The Government of the Hong Kong
Special Administrative Region



香港経由で 広東・香港・マカオ大湾区に 事業進出するための実用ガイド

はじめに

大湾区は、高付加価値ビジネスにとって魅力的な地域となっています。その主要都市である香港は、堅固な司法・金融制度、簡素かつ低税率な税制、そして世界とのつながりを強みとして、ダイナミックで安全かつ安心して「ビジネスをやり遂げる」場を提供しています。専門性の高い人材や貿易団体のネットワーク、多様性のあるビジネス環境や高度な技術インフラはいずれも、企業と大湾区、中国全土、さらにはアジア太平洋地域の優れた人材や商機との橋渡しをしています。広東省に隣接する香港は、大湾区に密接に関わり、そこから多くのビジネスが生まれています。

そこでインベスト香港とPwCは、「香港経由で広東・香港・マカオ大湾区に事業進出するための実用ガイド」をお届けします。本書では、イノベーションとテクノロジー、金融サービス、ビジネス・専門サービス、ライフスタイルとクリエイティブ産業、そして航空関連産業を中心に、大湾区の最新動向を紹介します。また、香港で起業し大湾区で成功するための事例紹介、政府政策のポイントや大湾区進出促進策の活用に関するアドバイスも紹介します。

本ガイドは、PwCの専門家の知識、データ、経験に加え、業界のエキスパートや主要な市場調査をもとに作成されています。成長分野、成功事例、重要統計や予測を取り上げ、香港での新たな商機とその商機の先に繋がる大湾区への展開に関する知見をご紹介します。

本ガイドに成功事例を寄せていただいた方々に、心より感謝申し上げます。

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| はじめに | 01 |
| エグゼクティブサマリー | 04 |
| 本ガイドについて | 05 |
| 概要 – 香港と大湾区の投資環境 | 06 |
| イノベーションとテクノロジー（I&T） | 20 |
| 金融サービス | 30 |
| ビジネス・専門サービス（弁護士・会計士・コンサルタント等） | 37 |
| ライフスタイルとクリエイティブ産業 | 45 |
| 航空関連産業 | 55 |
| 大湾区でビジネスの可能性を切り拓く:よくある質問と設立のヒント | 60 |
| 参考資料 | 71 |
| インベスト香港について | 72 |
| PwCについて | 73 |
| お問い合わせ先 | 74 |

“

大湾区は、世界で最もエキサイティングで、ダイナミックかつ高いポテンシャルを秘めた地域の1つです。香港は、大湾区の主要都市であり、大湾区の国際的なハブとして、世界中の投資家に重要な商機を数多くもたらしています。

香港は、世界でもビジネスに最適な場所の1つです。世界経済フォーラムが発表した「2020年世界競争力指数」、世界銀行が発表した報告書「2020年ビジネス環境の現状」でいずれも世界第3位にランクインし、ビジネスを確実に成功させる大きな強みを持っています。

香港は、国際金融、貿易や物流の拠点として有名ですが、国際航空ハブ、国際イノベーションとテクノロジーの拠点、地域の知的財産取引の拠点、そして文化芸術交流の中心地という4分野でも、高いポテンシャルを誇っています。香港には海外と中国本土から9,000社を超える企業が進出しており、内1,457社が地域本部を置いています。豊富な国際人材、多様な資金調達ルート、広範な技術・製造の基礎、さらに国際感覚に富んだライフスタイルを持つ香港は、生活や仕事に最適な場所であるだけでなく、強力なスタートアップ・エコシステムの醸成にも貢献しています。皆様が大湾区における香港ならではの立ち位置を体験し、活用していただけることを願っています。



Stephen Phillips

Director General of Investment Promotion, Invest Hong Kong

“

香港は、競争力に富み、投資やビジネスを行うには、世界で最も魅力的な都市の1つです。大湾区と一帯一路構想（BRI）の中心地でもあります。国家政策をテコに、香港は中国本土に進出しようとする国際資本や企業、そして資金調達や国際市場へのアクセスを目指す中国本土の企業の双方にとって、飛躍を遂げる出発点になっています。企業は、「大湾区マインドセット」を養い、この地域の人材をうまく蓄積して育成し、生産性と創造力を高めることが求められます。強固なサプライチェーンを構築するには、大湾区の戦略を立て、新たな市場ポテンシャルを開拓し、立地の強みを理解しなければなりません。同時に、市場参入を促進し、適切なサポートを得るための制度上の諸策を活用することも大切です。

30年以上にわたる華南地区での自身の経験から、効果的かつ効率的に実行していくことが成功の鍵だと確信しています。私がそうであるように、皆様にも大きな恩恵がもたらされ、大湾区での前進を楽しんでいただけるものと期待しています。

”



Charles Lee

South China (incl. Hong Kong Tax Leader), PwC China

エグゼクティブサマリー

本ガイドは、3種類の法制度、税制、通貨を持つ、活気ある大湾区都市群で生まれる膨大な商機をつかむには、香港がいかにより最適な場所かをご案内します。

第1部では、大湾区の各都市や開発特区、重点産業や関連する支援策などを紹介し、なぜ大湾区が世界で最もエキサイティングでビジネスの可能性を秘めた場所なのか、理解を深められるようにしています。

第2部では、大湾区でビジネスを展開するには、なぜ香港が最適なゲートウェイなのかを解説しています。

- 「一国二制度」の原則のもと、国際的なつながり、確立されたコモンロー制度、世界一流の専門サービス、資本、情報、人材の自由な流れといった香港の基本的な強み
- 広深港高速鉄道や香港珠海マカオ大橋をはじめとする世界トップクラスの主要越境インフラが、境界を超えたビジネス活動を促進し大湾区に「1時間生活圏」を創出
- 大湾区で多業種の国際企業が目標を実現することを後押しする政府の各種支援策
- 規模や業種の異なる国際企業が、香港を通じて大湾区に進出する際に参考となる事例

第3部では、大湾区でのビジネスの立ち上げに役立つガイドとヒントを記載しています。

インベスト香港は、国際企業による香港進出の計画段階から事業拡大段階までワンストップで支援するサービスを提供しています。サービスはすべて無料で、秘密厳守、お客様に合わせ対応いたします。

大湾区への旅に踏み出すには、インベスト香港にご相談ください。

本ガイドについて

1

知っておきたいこと：「9+2+4」



香港の投資環境と大湾区の概要

重点産業や政策目標のほか、大湾区の地理、人口動態や経済に関する主な事項

大湾区の本土9都市と香港、マカオの2つの特別行政区（9+2都市）、そして大湾区の本土都市にある4つの重要開発区（4区）の概要

2

どこに投資すべきか？
なぜ香港経由で投資するのか？



5つの業界における商機と、関連する成功事例

5つの主要セクターの市場動向や商機の概観：イノベーションとテクノロジー（I&T）、金融サービス、ビジネス・専門サービス、ライフスタイルとクリエイティブ産業、航空関連産業

企業が語る香港経由の大湾区への進出と成功の道筋をお読みください。大湾区での事業発展を支援する組織をご紹介します。

3

香港や中国本土で事業を始めるには？



大湾区への事業展開のための実用ガイドとFAQ

香港や中国本土での事業立ち上げに役立つガイド（FAQを含む）

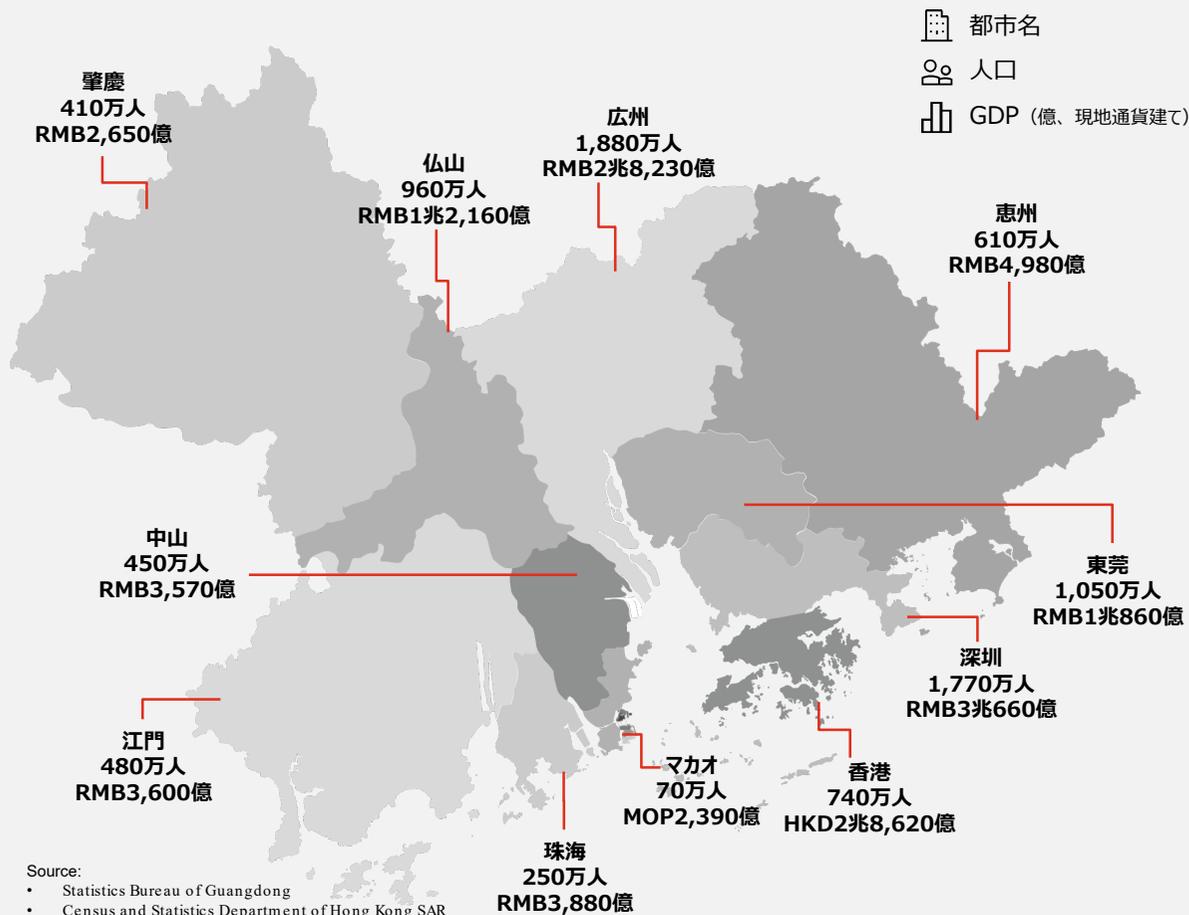
優遇政策や申請できる政府支援についてご紹介します。



概要 – 香港と大湾区の投資環境

大湾区の概要

2021年 大湾区の人口・経済統計



Source:
 • Statistics Bureau of Guangdong
 • Census and Statistics Department of Hong Kong SAR
 • The Government of Macao SAR Statistics and Census Service

大湾区は、香港とマカオの2つの特別行政区と、広東省の広州（コウシュウ）、深圳（シンセン）、珠海（シュカイ）、佛山（フツザン）、惠州（ケイシュウ）、東莞（トウカン）、中山（チュウザン）、江門（コウモン）と肇慶（チョウケイ）の9つの都市で構成されています。総面積は約56,000平方キロメートル。総人口は8,600万人を超え、2021年のGDPは1兆9,000億米ドルで、韓国、スペイン、オーストラリアを上回っています。

目標

2019年2月に中国共産党中央委員会と国務院が発表した「大湾区発展計画綱要」には、大湾区の5つの戦略目標が盛り込まれています。

- 1 世界屈指の活気あふれる都市群
- 2 世界的に影響力のあるイノベーションとテクノロジーの国際ハブ
- 3 「一帯一路」構想の構築を支える重要な柱
- 4 中国本土、香港、マカオの緊密な協力関係の体現
- 5 「暮らす、働く、旅する」にふさわしい上質な生活圏

大湾区は、新たな投資を絶えず呼び込み、人材や若年層を育成し、中国のイノベーションと経済成長を牽引する役割を担っています。



コラボレーション

大湾区は、高学歴の労働力、幅広い産業のサプライチェーンと巨大な消費市場を持つ重要な経済クラスターです。開発戦略、重点産業や人口動態は、域内の各都市によって異なります。これらの都市は、ビジネス環境を改善し、生産性においてシナジーを発揮するため協力し合い、コミュニケーションを図っています。

大湾区の新たな政策や試験的な制度は、中国本土の改革開放路線を推し進めています。この地域は、新たな投資を誘致し続けるとともに、人材や若年層を育成し中国本土のイノベーションと経済成長を牽引するリーダーとしての役割を果たしています。

コネクティビティ

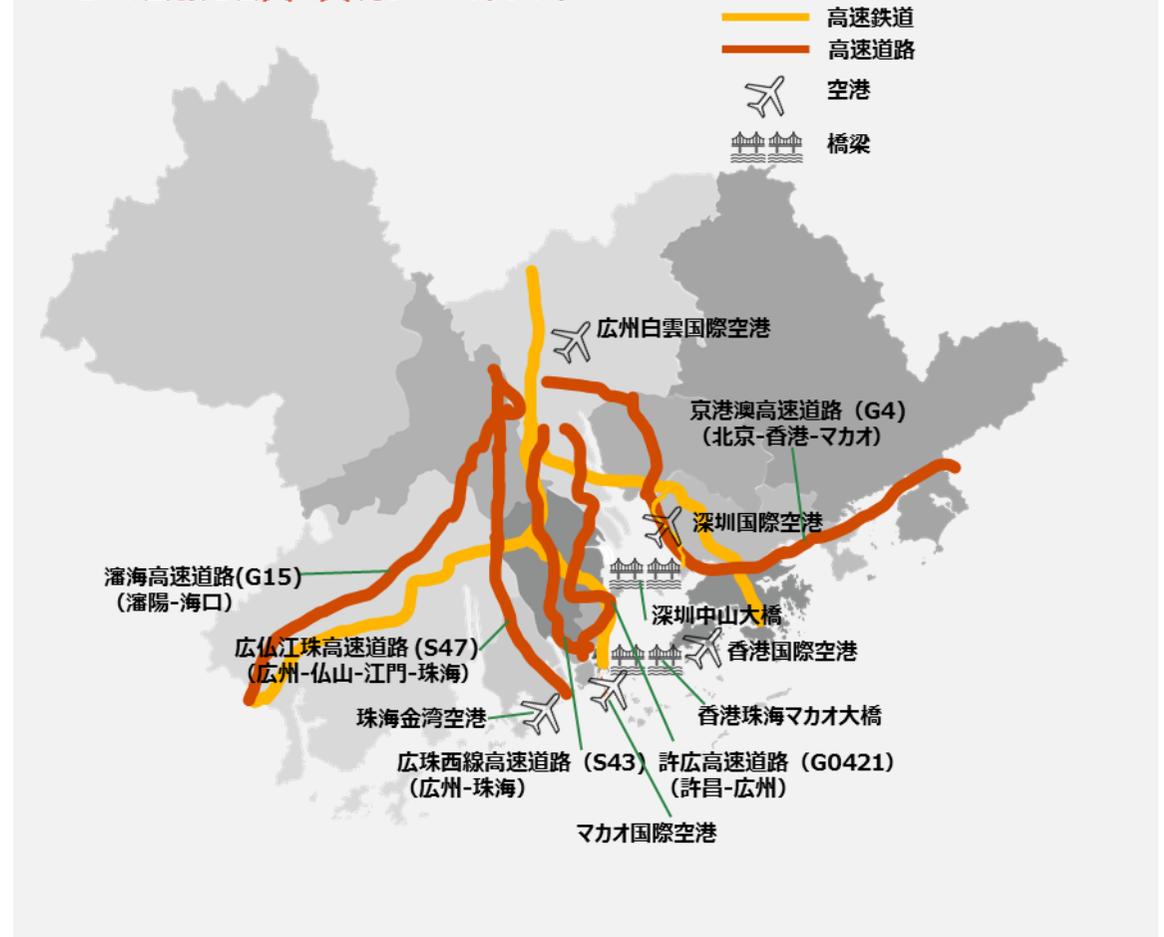
大湾区の優れた交通網は、人、物、ビジネスの流れを促進し、資本と情報の流れの円滑化にもつながっています。大湾区発展計画綱要は、9+2都市における都市交通インフラの青写真を打ち出しています。大湾区の「1時間生活圈」というコンセプトは、この地域の高速鉄道、高速道路や国際・国内空港によって実現可能です。

香港の役割

大湾区の開発における香港特別行政区政府の取組みには、次のようなものがあります。

- 国際的な金融、輸送、貿易の中心地、航空ハブとしての香港の地位の強化
- 国際的なイノベーションとテクノロジーハブの構築
- インフラのコネクティビティの強化
- 香港に強みのあるセクターの開発強化
- 若年層のイノベーションと起業家精神の育成
- 香港の国際的なコネクションとネットワークをフルに活用した、大湾区の海外プロモーションや大湾区への資本と人材の誘致

大湾区の各都市を結ぶ高度な交通網は、「大湾区の主要都市間を1時間で結ぶ」という目標を着実に実現しつつあります。



香港の概要



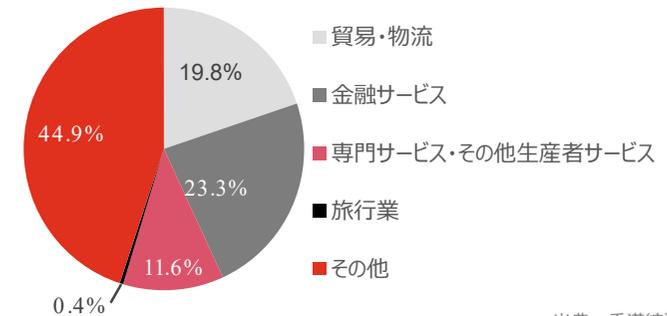
世界有数の国際拠点である香港は、中国やアジア全体にとって金融、貿易、物流の戦略的なハブです。

経済

香港経済の特徴は、自由貿易、簡素な税制と最小限の政府介入にあります。外資規制はなく、資本、人材、物品や情報の自由な移動が認められています。

サービス業がGDPの90%以上を占め、特に中国本土やアジア太平洋地域と強く結びついています。

2020年GDPに占める4大産業の付加価値額の割合



出典：香港統計局

世界ランキング

- 1st 貨物空港 [1]
- 2nd IPO資金調達 [2]
- 3rd ビジネスのしやすさ [3]
グローバル金融センター指数 (GFCI) [4]
- 4th 対内直接投資残高 [5]
- 6th 物品貿易量 [6]

出典：
[1] ICAO 2021
[2] 香港証券取引所 2020
[3] 世界銀行 Doing Business 2020
[4] グローバル金融指数 (GFCI) 30 報告書
[5] UNCTAD世界投資報告書 2021
[6] 世界貿易機関 2020

税制

香港が導入している税制は、税率が低く、簡素で優位性があります。直接税は3種類のみで法人税（基本税率16.5%、軽減税率 8.25%）、給与所得税（15%）、不動産税（15%）です。オフショア源泉所得は、法人税が免除されます。香港には、売上税や付加価値税、キャピタルゲイン課税、配当税、配当と利子に対する源泉徴収税や相続税はありません。研究開発、ファンド、コーポレートトレジャリーセンター、ファミリーオフィス、船舶・航空機リースなど、様々な産業や事業活動を奨励する優遇税制が多数あります。

法制度

「一国二制度」の下、香港の法制度はコモンローに基づいています。香港は、自由な資本移動、容易な外貨両替、自由なビジネス環境、高度な国際化などの利点があり、海外顧客と取引が行いやすい環境が整っています。

国際金融センター

- **オフショア人民元プラットフォーム** - 越境人民元資金が双方向に流れるチャネルを拡大し、オフショア人民元商品とツールを開発し、オフショア人民元取引のための国際多国間協力プラットフォームを確立する。
- **国際的な資産運用拠点** - 香港にファミリーオフィスを誘致するための税制優遇措置を設ける。
- **国際リスクマネジメント拠点** - 保険コネクトの取り組みにより、大湾区内の保険市場への相互アクセスを促進する。
- **地域の炭素排出権取引ハブ** - グリーンで持続可能な投資と資金調達のために、香港の金融プラットフォームを利用する事業体を増やす。

国際輸送拠点

- **地域のトランシップハブ** - 高付加価値な海事サービスを発展させる。
- 「スマートポート」 - 港湾分野のデジタル化と革新的技術の活用を促進する。
- 「GBA on the Rail」 - 深圳市と共同で「GBA on the Rail」（鉄道網）を発展させ、両地域間の交通網の緊密化により人の流れを円滑にする。

国際貿易拠点

- **国際会議・展示会のハブ** - 香港コンベンション&エキシビションセンターとアジア・ワールド・エキスポの拡張を進める。
- **CEPA** - CEPA（香港・中国経済貿易緊密化協定）の枠組みの下で、さらに自由化措置を導入する。

国際司法・紛争解決サービス拠点

- **国際社会** - 国際機関との交流や協力関係を強化し、国際的な司法機関や紛争解決機関の誘致政策を実施する。
- **本土** - 香港と中国本土の専門家の協力関係を強化し、交流を深める。





国際的なイノベーションとテクノロジー（I&T）のハブ

- 「**One Zone, Two Parks**」（1つの協力区に深圳、香港の2つのサイエンスパーク） - 深圳・香港科学技術イノベーション協力区を強化し、大湾区内の協力関係を深める構想。
- **研究開発要素** - イノベーションとテクノロジーの発展を促進し、国家および大湾区の発展に統合させるとともに、人材、資本、物品、情報を含む主要な研究開発要素の流れをさらに促進する。
- 「**InnoHK研究クラスター**」 - 革新的要素の国境を越えたやりとりを加速させる。
- **ライフサイエンス** - 売上や収益未計上のバイオテクノロジー企業の香港証券取引所メインボードへの上場を認める。

国際航空ハブ

- **インターモーダル輸送網** - 大湾区からの旅客や貨物が香港国際空港とシームレスに接続できるようにする。
- **第3滑走路システム** - 香港国際空港の第3滑走路は、2022年4月の飛行点検を終え、運用開始の準備が整う。

国際文化交流の中心地

- **香港と大湾区の様々な劇場間の協力** - より多くの公演機会を提供し、芸術文化プログラムの動員数を増やす。
- **人材** - 人材の育成と交流のために充実した設備環境を活用する。

域内の知的財産取引の中心地

- **大湾区におけるIP取引、保護、管理および商業化** - 中国本土とマカオの知的財産当局との連携を強化する。
- 「**Original Grant Patent**」制度（直接出願特許制度） - 知的財産局の実体審査能力を高め、制度を普及・向上させる。

深圳の概要

深圳



注：本地図は、ビジネスに関わる主なホットスポットを表示しており、すべてを掲載しているわけではありません。

国家経済の中核都市かつ国家イノベーション都市

深圳は、香港に隣接する沿岸都市です。1978年に中国で初めて開放政策を採用した経済特区でした。

2020年、国務院は「深圳における中国の特色ある社会主義先行モデル地区建設の総合改革試験実施方案（2020～2025年）」を公布し、指定区域での改革実施に一層大きな裁量を市に与えました。

深圳は、中国の改革の「初期・試験的実施」地域であり、開放と近代化において先駆的な役割を担っています。

急成長中の優位な産業

- 情報技術
- バイオ医薬・医療機器・バイオテクノロジー
- デジタルエコミー関連のソフトウェア・クリエイティブ産業
- 先進機器製造
- 新素材製造
- 海洋経済
- 新エネルギー車

イノベーション都市 深圳はイノベーション都市として知られ、エレクトロニクス、インターネット、情報技術、ライフサイエンス、新エネルギー産業で主導的な役割を果たしています。

市場の活力 2021年の深圳のGDPは3兆人民元を超え、中国で最も成長の速い都市の1つとなりました。

広州の概要

国際的な商工業の中心地であり、統合交通の要衝

広州は、広東省の省都です。古代海上シルクロードの起点として、**重要な国際商業の中心地であり、統合交通の要所でもあります。**

広州は、国の国際消費財センターとして、美容製品、コーヒー、お茶などの消費財や生花などの流通拠点となっています。また、省都の広州には、様々な多国籍企業や国営企業が古くから進出しています。

広州は、中国最大の越境ECとライブコマースのハブです。2021年12月までに、広州白雲空港の越境ECの輸出入取引は1,000億人民元を超えました。広州白雲空港には、越境ECの大手企業が集積しています。

急成長中の優位な産業

- 新エネルギー・省エネ
- 新素材・ファインケミカル
- デジタルクリエイティビティ
- インテリジェント機器・ロボティクス
- 鉄道輸送
- 新世代情報技術
- インテリジェント・新エネルギー車
- バイオ医薬・バイオテクノロジー

広州



マカオの概要

観光、医療、金融、ハイテク、文化・展示会産業など、経済多角化を追求

マカオ特別行政区は、世界貿易機関から世界で最も開放的な貿易・投資体制を持つ地域の1つとして評価されています。

自由貿易港、独立関税区であるマカオは、ポルトガル語圏と関わりが深く、幅広い国際マーケティングネットワークがあります。法人税率は、最大で12%と魅力的な水準です。

中国とポルトガル語圏の間でマカオが果たしている貿易・経済協力のサービスプラットフォームとしての役割は、年々注目を集めています。

横琴広東・マカオ緊密協力区は、横琴とマカオのつながりを深め、マカオ居住者にとって快適な生活・労働環境を生み出そうとしています。一体的な社会保障制度とインフラがこの連携を後押ししています。

さらにマカオに期待されること

- 観光・レジャーの世界的中心地としての評価を高める
- 経済の多角化に向け、珠海市と連携する（例えば、横琴広東・マカオ緊密協力区の活用を通じて）
- 中国本土とポルトガル語圏の間の商業・貿易協力サービスプラットフォームとなる
- 広州-深圳-香港-マカオ科学技術イノベーション回廊の建設に重要な役割を果たす
- 伝統的な中医薬（TCM）に関するポルトガル語圏との協力を拡大し、TCMの国際化を推進する

珠海の概要

南をマカオに接し、1980年に経済特区として設立された、陸・海・空の交通の便に恵まれた都市

珠海港は、国内屈指の沿岸港で、広東省の5大港湾の1つです。

珠海の6つの中核産業は、情報技術、家電、電力・エネルギー、バイオ医薬・医療機器、石油化学、精密機械で、そのほかに特殊な産業として印刷用品とヨット製造も抱えています。

今後10年、珠海は急速な人口増加の時代を迎え、経済発展にさらに大きな成果をもたらし、より多くの雇用と成長機会を生み出すと期待されています。

急成長中の優位な産業

- 先進製造業
- 航空産業
- 専門サービス
- 金融業
- デジタル情報産業
- 新素材
- 新エネルギー
- バイオ医薬

珠海

富山工業園区

航空工業園区

高欄港経済区

高欄港

珠海・マカオ越境工業区

南屏技術工業園区

広東・マカオ緊密協力区

珠海金湾空港

横琴

珠海高速鉄道駅

香港珠海マカオ大橋

マカオ

マカオ国際空港

注：本地図は、ビジネスに関わる主なホットスポットを表示しており、すべてを掲載しているわけではありません。

仏山の概要

確立された製造能力とイノベーションの力

仏山のGDPは、広東省内の大湾区の都市では3位で、2021年には1兆2,000億人民元を超えました

仏山は、機械設備、家電、家具、窯業建材、食品・飲料などの従来型産業で強固な基盤を築いています。また、ロボット、新エネルギー自動車、ITや新素材などの新興産業も盛んです。

仏山は、大湾区発展計画綱要において、産業のアップグレードと自動化を継続的に促進する地区に指定されています。2021年、第14次広東省製造業5ヶ年計画では、同市は主要な従来型産業と新興製造業（精密機器、集積回路、半導体など）を発展させるとともに、珠江デルタ西側の産業振興を支える役割が求められています。

急成長中の優位な産業

-  新世代情報技術
-  インテリジェント家電
-  新素材・ファインケミカル
-  繊維産業
-  農業、食品
-  バイオ医薬・ヘルス
-  ソフトウェア・情報サービス
-  新エネルギー車



注：本地図は、ビジネスに関わる主なホットスポットを表示しており、すべてを掲載しているわけではありません。

東莞の概要

製造業での豊富な経験

東莞は、大湾区の中心に位置し、南は深圳、北は広州と惠州と繋がっています

東莞のGDPは、広東省内の大湾区の都市で4位となっています。同市は、製造業で有名です。主要分野は、情報通信機器、電気機械設備、靴・小物、食品・飲料加工です。

東莞は、従来型産業の優位性を磨き、「デジタル+ブランド+スタンダード+文化」戦略を実行し、「Made in 東莞」のブランド力を上げるという発展目標を掲げています。



急成長中の優位な産業

-  情報機器製造業
-  電気設備・機械製造業
-  新素材
-  新エネルギー
-  バイオ医薬・ヘルス関連製造業
-  人工知能

中山の概要

先進製造業と現代サービス業の拠点

中山は、北を広州と面し、香港やマカオにも近いです。珠江の西岸に位置し、交通の要所となっています。中山は、先進製造業と現代サービス業の拠点です。また、広東省における産業高度化のパイロット都市でもあります。

中山は、イノベーションと発展を促進するため、中山科学技術イノベーションパーク、光科学センター、先進低温技術研究所などの建設が予定されています。



急成長中の優位な産業

- インテリジェント家電
- 電子情報産業
- 先進機器製造
- バイオ医学・ヘルス
- ウルトラHD機器
- 化粧品・トイレタリー産業
- 繊維産業
- 家具産業

注：本地図は、ビジネスに関わる主なホットスポットを表示しており、すべてを掲載しているわけではありません。

肇慶の概要

強みを生かし、改革とイノベーションを深化

肇慶は、東から南東にかけて仏山と江門に接しています。大湾区にある9都市で最大の面積を誇ります。

肇慶は、新エネルギー車、先進設備製造、省エネ・環境保護の3つの産業クラスターを構築しており、その価値は1,000億人民元以上に相当します。肇慶は経済成長の原動力として、文化、観光やスポーツなどの分野に重点を置き、消費者分野での新たなホットスポットとして、将来の発展を目指しています。

肇慶



急成長中の優位な産業

- 新エネルギー車
- 自動車部品・金属加工
- バイオ医学・ヘルス
- 先進機器製造
- 食品・飲料
- 電子情報
- 建設資材
- 人工知能
- 観光

惠州の概要

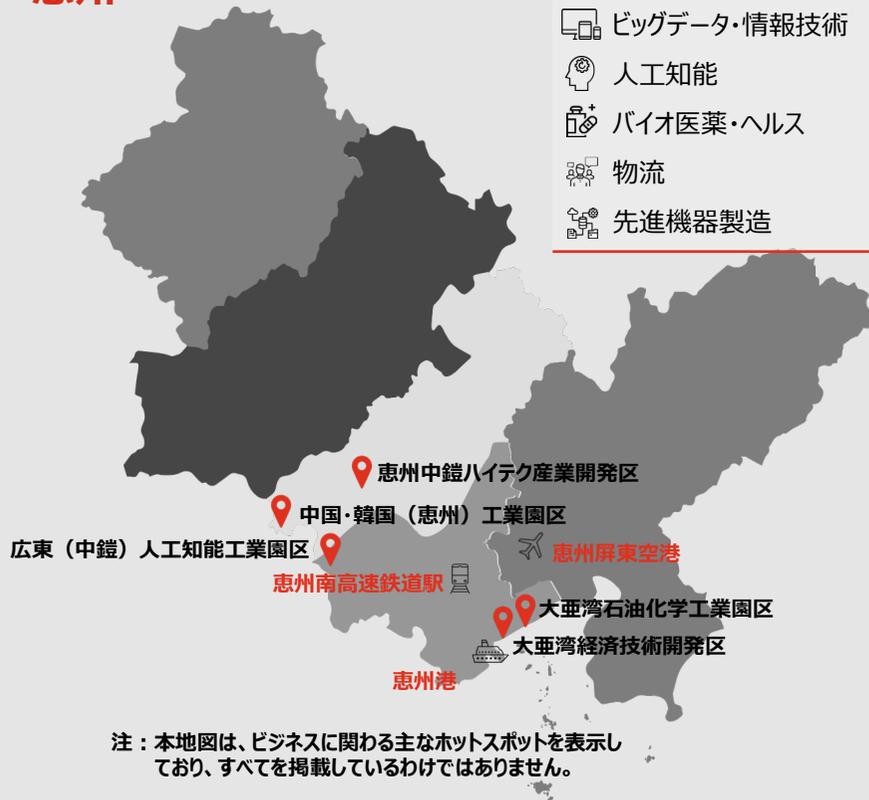
広東省東部のゲートウェイ

惠州は、広東省の南東部に位置し、大湾区で2番目に広い面積を持ちます。情報技術や石油化学が同市の代表的な産業です。これらに加え、自動車産業、設備製造業とクリーンエネルギー産業が、惠州の現代的な産業システムを構成しています。

急成長中の優位な産業

- ✈️ 新エネルギー
- 🔬 新素材
- 💻 ビッグデータ・情報技術
- 🧠 人工知能
- 🏥 バイオ医薬・ヘルス
- 🚚 物流
- 🏭 先進機器製造

惠州



江門の概要

華僑の重要な文化交流や協力のプラットフォーム

江門は、東に中山と珠海、西に陽江、北に広州、佛山、肇慶に接し、南は南シナ海に面しています。同市は、広東省の中でも農業が盛んです。

江門



急成長中の優位な産業

- | | |
|--------------|----------|
| 🔬 新素材 | 🏭 金属製品 |
| 🏥 バイオ医薬・ヘルス | 📄 製紙・印刷 |
| 🏭 先進機器製造 | 👕 衣料製造 |
| 🌐 新世代情報技術 | 📷 電化製品製造 |
| 🚗 新エネルギー車・部品 | 🏍️ バイク製造 |

香港・マカオとの連携に向けた大湾区内の重要な協力区

1. 前海深港現代サービス業協力区（深圳）

前海は、広東省と香港が協力して**現代サービス産業区を形成するパイロット地域**であり、実証の場となっています。

2021年9月6日に発表された「前海深港現代サービス業協力区の改革開放の全面的深化構想」は、前海の改革開放を全面的にかつ深く実施し、大湾区の発展を前海が模範的に主導していくことを目指しています。同構想では、前海の総面積を14.92平方キロメートルから120.56平方キロメートルに拡張することを提案しています。具体的な施策には、次のものが挙げられます。



前海について知っておきたいこと

- 前海国際人材ハブ
- 深圳-香港国際金融センター
- 前海深港青年夢工場
- 香港、マカオの登録税務専門家（特定分野）は前海で働くことが認められる

1. 改革革新の全面的深化とテストプラットフォームの構築：現代サービス業の発展を推進し、科学技術開発の刷新やイノベーションを加速し、革新的なガバナンスで世界一流のビジネス環境を構築
2. 対外開放に向けたハイレベルなゲートウェイハブの構築：香港とマカオとのサービス貿易自由化の深化、金融サービス業の開放拡大、法的承認の改善、ハイレベルでの国際協力への参画

前海に設立され、奨励対象のサービス業に従事する企業は、優遇税制を受けられます（法人税の法定税率25%から15%への引き下げなど）。対象となるのは、技術サービス、現代物流、文化革新、情報サービス、ビジネスサービスなど30業種です。

- 人材への助成金や補助金
- 司法革新 - 調停連盟、前海が任命する香港の査定人と調停人、前海裁判所が11のワンストップ訴訟サービスを開始
- 香港の慣例を踏まえたインテグリティ（誠実さ）監視手法を模索

2. 横琴広東・マカオ緊密協力区（珠海）



中央政府は、2021年9月5日、横琴広東・マカオ緊密協力区の建設全体計画を発表しました。本区は、次のような特徴を持ち合わせています。

- マカオの経済多角化を促進する新たなプラットフォーム：開発できる広い区画と商機の拡大
- 4大産業：（1）科学技術研究と先進製造業（2）中国伝統医学（3）文化観光、国際会議・展示会、商業・貿易産業（4）金融サービス業
- 横琴に居住・勤務するマカオ市民向けの公共サービスや社会保障制度をマカオと一体化
- 技術、人材、資本と情報の流れの高度化を進展させる役割を担う

横琴に設立され、奨励対象サービス業に従事する企業は、優遇税制を受けられます（法人税の法定税率25%から15%への引き下げなど）。

さらに本区では、自由貿易港待遇、優秀人材に対する個人所得税の軽減（最高税率45%から実質15%への引き下げ）、中国に設立され指定産業に従事する企業の海外投資の配当金に対する免税も行われています。

香港・マカオとの連携に向けた大湾区内の重要な協力区

3. 深圳・香港科学技術イノベーション協力区（香港・深圳市内）

2021年9月、香港政府と深圳市政府の間で、深圳・香港科学技術イノベーション協力区の「**One Zone, Two Parks**」制の確立に関する新たな共同取決めが合意されました。本区は、香港・深圳イノベーションテクノロジーパーク（HSITP）と深圳科学技術イノベーション区（SZ I&T Zone）で構成されています。

この構想は、香港が国際的なイノベーションとテクノロジーのハブへ発展することと、香港と中国本土との協力関係をさらに深化させることに対して明確な支持を表しています。

これは、中央政府が香港のイノベーションとテクノロジーと落馬洲ループの開発を重要視していることを示すものです。

- 開放、革新、協力に対する制度的な障壁の打破に焦点
- 現地の事情に合わせて課題を検証するための改革を計画
- 越境協力のためのプラットフォームの構築
- ヘルス・ライフ分野の研究開発に特化した InnoLife Healthtech Hubの設立



4. 南沙 広東・香港・マカオ全面協力モデル区（広州市内）

南沙は広州の南部に位置し、大珠江デルタ経済圏の中心です。

南沙は、珠江河口のほとりにある都市群を結ぶハブとなっています。

その利便性の高い7つのエリアは、南沙地区と広州の経済技術開発を促進し、広東・香港間の協力に基づく世界トップクラスの統合サービスハブを構築することに注力しています。この取り組みを支えるために強化される主要産業は、海運物流、国際金融、国際貿易、科学技術イノベーション、海洋経済、先進製造業などです。

国際ルールに適応し、世界に開かれたビジネス環境を確立すること、香港・マカオとのサービス貿易の自由化を優先させることにコミットしています。

さらに、南沙は、国際貿易機能と金融サービスを統合した国際海運物流拠点となり、21世紀の海上シルクロード沿いの国や地域のための科学技術協力の拠点を形成することが期待されています。



イノベーションとテクノロジー (I&T)

2035年までに、大湾区は強い経済力を持ち、イノベーションとテクノロジーに支えられた開発のモデルとなって、国際競争力を高めることが期待されます



なぜ香港なのか？

国際的なイノベーションとテクノロジー(I&T)のハブとしての香港

香港は著しい発展を遂げており、健全な先行きを示しています。香港のI&T産業の重要分野としては、スマートシティ、情報通信技術エレクトロニクス、人工知能・ビッグデータ、ロボティクス、グリーンテクノロジー、バイオテクノロジーや新素材が挙げられます。

香港は今後も、世界トップクラスの大学、非常に高い科学研究力、国際的なビジネス環境と文化、堅固な法の支配や知的財産権の保護を通じて、中国本土とI&T分野での協力を強化していきます。

香港政府は、2017年から2021年にかけてI&Tを発展させようと、1,300億香港ドルを超える、これまでにない投資に踏み切りました。

革新性、敏捷性と多様性で知られる香港のスタートアップエコシステム

香港のスタートアップエコシステムは、市場へのアクセスのしやすさ、豊富な優秀人材と資金により、強い基盤を持っています。この他に香港が持つ重要要素として、大学の研究能力、人材の質、メンター陣の存在、ビジネスのしやすさなどがあります。2021年には、フィンテック、電子商取引・物流技術、データ分析、情報技術、ハードウェア、ヘルス・医療、デジタルエンターテインメント・ゲームなどの分野の、3,700以上のスタートアップ企業が、香港のコワークスペースやアクセラレータに入居していました。創業者の3分の1は海外出身者が海外での就学・就労経験を持つ香港人です。



StartmeupHKの詳細はこちらをご覧ください。



海外スタートアップ企業への支援

StartmeupHKは、革新的でスケーラブルなスタートアップ企業の創業者が海外から香港に進出する際の支援を行うインベスト香港の取り組みです。本サービスには、ここ香港のスタートアップエコシステムに関する情報の提供、人々とスタートアップコミュニティとの関係構築支援、スタートアップ・イベントの主催、スタートアップが成長しやすい環境づくりの支援などが含まれます。

2位

2021年世界デジタル競争力
ローザンヌに本部を置く国際経営開発研究所 (IMD) が発表

11位

2021年世界人材ランキング
ローザンヌに本部を置く国際経営開発研究所 (IMD) が発表

14位

2021年グローバル・イノベーション・インデックス (GII)
世界知的所有権機関(WIPO)が発表

8位

2020年グローバルフィンテックエコシステム
スタートアップゲノムが発表



香港と本土の都市に広く存在する資源を集約し、**新世代情報技術、5G、バイオテクノロジー、先進機器製造や新素材事業**など、新しい柱となる産業を育成することが非常に重要です。

香港-深圳-広州は、WIPOのGII2021で、世界的な科学技術クラスターとしては世界第2位です。大湾区は、戦略的新興産業を開拓し、先進的製造業と現代サービス業に支えられています。今後もイノベーションを促進し、産業構造を最適化していくでしょう。大湾区に本社を置く多くのI&T企業が大きな成功を収めています。スタートアップ企業も膨大なビジネスチャンスを目にしています。香港は、上場を目指すI&T分野のスタートアップ企業にとっても良い場所です。



Wilson Chow

Global Technology, Media and Telecommunications (TMT) Industry Leader, PwC



香港は、I&Tスタートアップ企業を全行程でサポートする トータルソリューションを提供します

香港は
世界トップレベル
の
I&Tインフラを
備えています

01

- **香港サイエンス・テクノロジーパーク (HKSTP)** は、応用研究開発のための包括的インキュベーションプログラムを提供しています。
- **香港サイバーポート**は最先端の情報通信インフラを提供することで、テナントのイノベーションをサポートします。
- **5つの研究開発センター**が、応用研究開発を推進・調整しています。
 - (a) 自動車プラットフォーム・応用システム研究開発センター (Automotive Platforms and Application Systems R&D Centre (APAS))
 - (b) 香港応用科学技術研究センター (Hong Kong Applied Science and Technology Research Institute (ASTRI)) : 情報通信技術の指定研究開発拠点
 - (c) 香港繊維アパレル研究開発センター (Hong Kong Research Institute of Textiles and Apparel (HKRITA))
 - (d) 物流サプライチェーン・マルチ技術研究開発センター (Logistics and Supply Chain MultiTech R&D Centre (LSCM))
 - (e) ナノ・先端素材研究所 (Nano and Advanced Materials Institute (NAMI))
- **香港生産力促進局 (HKPC)** は産業・商業界の企業がバリューチェーンを向上させ、新たな商機をつかむための総合支援サービスを提供しています。

香港の質の高い
教育制度が
優秀な人材と
研究力をもたら
しています

02

- **クアクアレリ・シモンズ (QS) の2022年世界大学ランキングの上位100校のうち、香港から以下の5校がランクインしています。**
 - 香港大学 22位
The University of Hong Kong (HKU)
 - 香港科技大学 34位
The Hong Kong University of Science and Technology (HKUST)
 - 香港中文大学 39位
The Chinese University of Hong Kong (CUHK)
 - 香港城市大学 53位
City University of Hong Kong (CityU)
 - 香港理工大学 66位
The Hong Kong Polytechnic University (PolyU)
- QSで上位にランクインする香港の大学の理工系科目は、**コンピューターサイエンス、電気・電子工学、機械工学**などです。
- **InnoHK研究クラスター**は、香港を世界的な研究協力拠点として発展させる大規模な取組みで、世界トップクラスの大学や研究機関を誘致し、香港の大学と共同で28の研究室を立ち上げるものです。

政府とベンチャー
キャピタルによる
共同出資でスタート
アップを育成し
成長を加速させて
います

03

- 香港政府は、2017年に**20億香港ドルの技術革新・科学技術ベンチャー基金 (ITVF)** を設立し、ベンチャーキャピタルとともに、**ITVFと共同出資パートナー (CP) が1:2の比率**で出資しています。これまで、ITVFには11社のCPが参加しています。
- HKSTPのコーポレートベンチャーファンドとサイバーポートのサイバーポートマクロファンドは、出資対象を**シリーズA以上に拡大しました。**
- 香港政府は2022-23年度予算において、「未来基金」の「香港成長ポートフォリオ」への資金提供を増やし、香港にとって戦略的価値のあるテクノロジー企業やプロジェクトに投資するため、50億香港ドル規模の戦略的テックファンドを設立しました。



InnoHKの詳細は
こちらをご覧ください。



ITVFの詳細は
こちらをご覧ください。



香港は様々なステージを経て成長し 世界に拠点を広げるI&T企業をサポートします

香港の堅固で
効果的な知的
財産保護制度
は、141の経済
圏で5位に入
ります

04

- **香港は、知的財産（IP）取引の地域拠点です。**香港は、堅固で効果的なIP保護制度を維持することに全力を注いでおり、同制度は、特許、著作権、商標、意匠、植物品種、集積回路のレイアウト設計を網羅しています。
- 知的財産局（IPD）の準司法的機能、税関による知的財産権侵害の刑事的側面からの取締り、世界水準の仲裁サービスや法的支援など、スタートアップや企業の知的財産保護に欠かせないサポートが用意されています。
- 2021年以降、IPDによって原授標準特許（original grant patent（OGP））制度が導入されました。標準特許は、香港外で登録手続きをしなくても、香港で直接取得できるようになりました。OGPは、既存の標準特許の「再登録」手続きの他に新たな選択肢を提供するもので、発明者に最長20年の保護期間を付与します。

[1] Source: Global Competitiveness Report 2019 published by the World Economic Forum

世界No.1の
資金調達先であ
り、アジアNo.1
のバイオテクノ
ロジー資金
調達市場

05

- 香港のIPO市場は、過去12年間のうち7年、世界第1位の座についています。2021年だけで、合計98社が3,314億香港ドルを調達しました。また、香港はセカンダリー上場や債券発行にも最適な市場です。
- 香港は、収益未計上のバイオテクノロジー企業の資金調達の場として、世界をリードしています。2018年4月にメインボード上場規則第18A章が導入され、収益未計上バイオテクノロジー企業が国際資本や投資家にアクセスできるようになってから、収益未計上バイオテクノロジー企業48社が上場しました。2022年1月末時点のIPO資金調達総額は、1,120億香港ドルに達しています。また、この上場制度改革は、香港に上場する医療・ヘルスケア業界全体の発展を加速させるものです。
- 香港証券取引所には、革新的な「ニューエコノミー」企業を上場させる制度として、加重投票権が付された議決権種類株式（WVR）とも呼ばれるデュアル種類株式構造制度があります。WVRは、企業の少数株主に、比較的低い株式保有率に見合わない議決権を付与することで、支配を維持できるようにする仕組みです。

大湾区、中国本
土、海外への
事業展開を支援
する手厚い
サポート体制

06

- StartmeupHKは、スタートアップエコシステムに関わる企業の香港での事業立ち上げ支援を行う、インベスト香港の取り組みです。香港内外で成長できるようワンストップサービスのプラットフォームを提供しています。
- HKSTPの**GBA InnoExpress**は、10日間の包括的なカリキュラムを通じて、大湾区での成長を目指す国際スタートアップ企業を支援します。
- **ブランディング・域内販売促進基金（Dedicated Fund on Branding, Upgrading and Domestic Sales（BUD））**は、企業が香港域外（本土や海外を含む）でマーケティングや販売を拡大し、業務効率や生産性を向上させるための資金を提供します。
- 労働省と内務省は、企業が大湾区で働く香港の若い人材の採用を奨励し、若者が大湾区で事業を立ち上げるための起業支援やインキュベーションサービスを提供しようと、様々な資金提供スキームを導入しています。

イノベーション・テクノロジー基金

イノベーション・テクノロジー基金（ITF）は、香港の企業が自社技術をレベルアップし、革新的なアイデアを事業に取り入れることを奨励・支援するものです。

ITFは、企業が革新的なアイデアを開発し、技術を向上させることを目的に、研究開発プロジェクト、プロトタイプ製造、スマート生産ライン、製造アップグレードなどを支援しています。ITFには、様々なニーズに対応したプログラムやスキームが用意されています。

パートナーシップ研究プログラム

企業拠出額が総研究費の50%以上、企業が総研究費の50%以上を拠出する場合は知的財産権（IP）を共同申請者である企業が所有

R&Dキャッシュリベートスキーム

適格な応用研究開発事業に対する企業の貢献度の40%に相当するキャッシュリベート

企業支援スキーム

承認された社内研究開発事業1件につき1,000万香港ドルを上限とする資金支援

広東省-香港技術協力基金制度

プラットフォーム事業で研究費の10%以上を企業が拠出した場合、または、共同事業で研究費の50%以上を共同申請者である企業が拠出した場合、企業がIPを所有



ITFの助成金プログラムの詳細はこちらをご覧ください



“

香港の税制はシンプルで、I&T産業関係者にとって**有利な面があります**。香港で事業を行い、香港域内で利益を得ている企業の場合、法定所得税率は課税所得のうち200万香港ドルまでは8.25%、200万香港ドルを超過する課税所得は16.5%です。損金繰越しに期限はありません。条件を満たす研究開発費に対しては、最大300%の控除が適用されます。非居住者へのロイヤリティ支払いは、通常4.95%の源泉徴収率が課税されます。消費税はありません。標準的な給与所得税はわずか15%で、海外の人材にとっても非常に魅力的です。

さらに、非居住者への配当や利子支払いには源泉徴収税がかからず、投資家にとって香港は非常に魅力のある場所です。



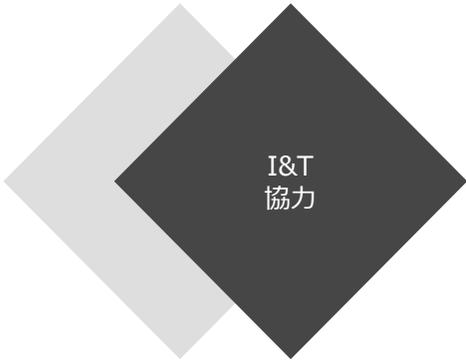
Gwenda Ho

Hong Kong TMT Industry Tax Leader
PwC

”



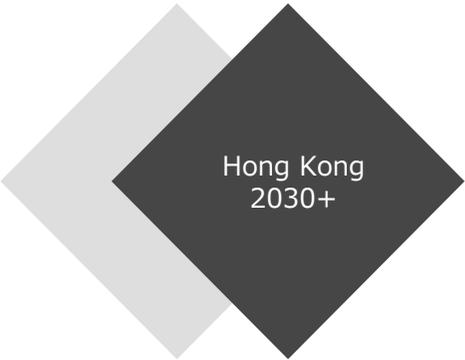
香港経由で大湾区の商機をどのようにつかむか？



I&T
協力

香港と中国本土とのI&T協力が奨励されています

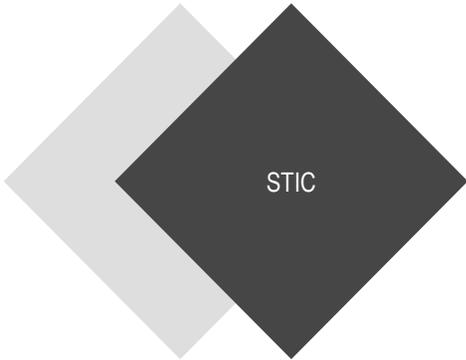
- 新しい施策の段階的实施は、香港の科学研究分野にはずみをつけ、国のI&Tを発展させるとともに、大湾区の国際的なI&Tハブとしての発展を支えていくでしょう。
- 大湾区は、地域と世界をまたぐサプライチェーンにより、域内のビジネスの競争力を高めています。香港のI&T企業は、先進製造技術を持つ大湾区企業と協力し、研究成果を商業化する手腕を発揮できます。



Hong Kong
2030+

香港が要となる「2030年以降のビジョンと戦略の策定」

- 香港政府が発表した「北方都会区開発戦略」は、香港北部の各計画・開発段階にあるニュータウンや様々な開発を包含しています。この戦略は、香港と深圳の統合、香港と大湾区の本土諸都市との接続を促進する鍵となります。
- 開発戦略は、香港の北側と深圳の南側の土地の最適な利用を目指しています。これにより、I&T産業が利用可能な用地を約150ヘクタールに拡張し、存在感と影響力のある、よりスケールメリットの大きいI&T施設を作ることが出来ます。I&T産業の多様性が高まり、雇用機会が増えるでしょう。



STIC

広州・東莞・深圳科学技術イノベーション回廊（STIC）は、大湾区のカタリストの役割を担っています

- 香港の大学は、大湾区の国際的な人材を育む重要な存在です。香港大学、香港科技大学、香港中文大学、香港城市大学は、深圳、広州、東莞に新しいキャンパスや研究機関を設立し、世界中のI&Tやビジネス資源にアピールでき、国際舞台で活躍できる人材プールを強化しています。
- 大学、研究機関、ベンチャーキャピタル、メーカーが高度に集中し、強力なI&Tクラスターと統合サプライチェーンを形成しています。
- 優秀な技術人材はSTICに集まり、より多様化し、この地域の研究開発能力はさらに強化されるでしょう。

大湾区への足がかり

香港政府が設立した香港サイエンスパーク (Hong Kong Science and Technology Parks Corporation (HKSTP)) は、香港を大湾区の国際的なI&Tハブとして成長させることに尽力しています。2002年以来、HKSTPは成功したI&T企業を育成し、香港と海外の強力なパートナーシップネットワークを形成してきました。

16,000+

HKSTP コミュニティの人口

80%

インキュベーションプログラムを卒業した事業継続中の企業

3

ユニコーン - SenseTime、Lalamove、SmartMore

1,000+

テクノロジー企業

11,000+

研究開発の携わる人材

850+

インキュベーションプログラムを卒業した企業数

200+

民間と公共部門のパートナーシップ

HKSTPは、イノベーションと起業のために、400万平方フィート（サッカー場70面相当）の研究開発オフィスとラボを提供しています。

イノセーター (InnoCentre) (Fin+Tech拠点)

フィンテックとEコマースの才能が融合する場。人工知能、ブロックチェーン、サイバーセキュリティ、データ分析における高度なイノベーション

イノパーク (InnoPark)

- **將軍澳工業団地** - スタートアップ産業の成長をサポートするデジタル拠点
- **大埔工業団地** - 精密製造センターがあり、食品製造、メディアサービス、日用品などの企業が集積

- **元朗工業団地** - 製薬、バイオメディカル、物流、石油化学産業のバイオニアの集積地

香港サイエンスパーク-広州南沙コ・インキュベーション基地 - 大湾区内の技術人材を集めるとともに、さらなる研究開発のための道筋をつけます。これにより、スタートアップ企業や若いプロフェッショナルが南沙地区に躊躇なく拠点を構えることができます。

香港・深圳イノベーション・テクノロジーパーク - 福田にある巨大な深圳イノベーションテクノロジー区から境界線を越えた落馬洲に戦略的に立地し、越境サプライチェーン、製造能力やトップレベルの人材の容易な活用を実現します。

サービス・サポート

- **大湾区アドバイザー** - 大湾区での起業や事業展開に関する知見共有
- **ビジネスコネク** - スタートアップ企業と潜在的な産業・企業パートナーとの関係づくり

投資マッチング - 投資家をつなげるロードショーやマッチングイベント

サプライチェーン支援 - 信頼できるプロトタイプ、製造、原材料のサプライヤーの紹介や現地訪問

共同研究開発 - 大湾区パートナーと大学や研究開発機関のコラボレーションの促進

パーク内での拠点設立支援 - パーク内の拠点設立と事業立ち上げ支援

資金援助 - HKSTPは、テクノロジー企業の各ライフステージに合わせた様々なプログラムを提供。アクセラレーションプログラムを通じて、企業は、大湾区での事業立ち上げや、ASEAN地域での商機を模索する機会を得られる。PRやマーケティングなどのコストをカバーするために、最大480万香港ドルの資金を用意

「Bring In」と「Go Global」戦略 - 国際的なI&Tハブを繁栄させることは、大湾区の発展に不可欠。香港は大湾区の国際ゲートウェイとして戦略的な位置づけにあり、HKSTPが担う重要な役割には、香港と大湾区の統合を推進すること、スタートアップ企業やテクノロジー企業が急成長する地域への拠点拡大の支援があります。

“

HKSTPは、協力的な取組みを通じて、大湾区の競争力を高め、研究開発と事業の国際拠点に発展させることを目指しています。



Matt Hu

Senior Manager of Business Development,
HKSTP.

”

香港スタートアップ企業の大湾諸都市への進出を促進・支援: ビジネス開発、製品アプリケーションの開発、サプライチェーンの開発

本土企業は香港を国際市場参入のゲートウェイとして活用: 本土の大企業を香港に誘致し成長させる。本土企業が香港を利用して国際市場に進出するのを支援する。起業支援とインキュベーション。I&T投資と資金調達支援

HKSTPは、深圳と香港の科学技術協力を促進することに尽力しています。HKSTPは深圳支社を設立し、GBA InnoExpressとGBA InnoAcademyを併設する予定です。香港と深圳のI&T人材に包括的なサービスを提供し、リソースセンター、トレーニングハブ、交流プラットフォームという3つの重要な機能を担っています。

大湾区のテクノロジー企業やスタートアップ企業の成功を導くカタリスト

第14次5ヶ年計画、大湾区発展計画綱要と地域包括的経済連携協定 (RCEP) の実施は、大湾区の技術的・経済的進歩にかつてない推進力をもたらしています。国際社会とつながる大湾区の国際ハブとして、香港は世界のスタートアップ企業やテクノロジー企業が、急成長する大湾区市場に参入する足がかりとして有利な立場にあります。



Peter Yan
CEO of Hong Kong Cyberport

香港のデジタル技術の旗艦であり、起業にとって重要なインキュベーターであるCyberportには、フィンテック、スマートリビング、デジタルエンターテインメントとeスポーツ、人工知能・ビッグデータやブロックチェーン・サイバーセキュリティに特化したスタートアップとテクノロジー企業がオンサイトで800社以上、オフサイトで900社以上集積しています。香港の5つのユニコーン、認可を受けた仮想銀行2行、認可を受けた仮想保険会社4社はみな、この起業家コミュニティから誕生しています。Cyberportには、(i) 約400社のフィンテック企業からなる香港最大のフィンテッククラスター、(ii) スマートリビング関連の約700社、(iii) デジタルエンターテインメントとeスポーツ関連の約150社を擁し、テクノロジーによって産業全体のデジタル化を新たな段階に引き上げることに貢献しています。Cyberportは、大湾区の発展という国家戦略に乗って進み、

この有望な地域のスタートアップ企業やハイテク企業の成長を加速させようと、サポートを充実させてきました。

起業の出発点

Cyberportのインキュベーションプログラムを終えたスタートアップ企業の3年の事業継続率は75%です。最大110万香港ドルまでの資金支援や無料オフィススペースなど、包括的な起業家プログラムによって、起業志望者はその実現の過程でCyberportに全面的にバックアップされていると実感できます。Cyberportの広範なネットワークは、新規企業が抱える他の重要なニーズにも対応しています。例えば、Cyberport投資家ネットワークには、100名以上のグローバル投資家が加入し、一部は大湾区で事業を行っています。

これらのグローバル投資家は、急成長するスタートアップ企業の発展に欠かせない資金を提供しています。Cyberport企業ネットワークは、スタートアップ企業と既存企業を結びつけ、イノベーションによる事業のデジタル化を推進します。CyberportテクノロジーネットワークとCyberport専門家サービスネットワークはそれぞれ、スタートアップ企業を大手テクノロジー企業や専門コンサルタント会社に紹介し、市場参入を加速させる特別な技術サポートや専門サービスを利用できるようにしています。革新的な技術の実用化を促すため、Cyberportは、スタートアップ企業の実地試験を円滑化し、施設内の技術環境を絶えず強化しています。香港ICTアワード2022で受賞した32の賞をはじめ、数々の業界賞の受賞は、Cyberportのスタートアップ企業が政府機関、産業界や一般市民から評価されていることの表れです。

大湾区のチャンスへの架け橋

技術革新の国際的中心地となりつつある大湾区で、技術起業家が新しいチャンスをつかめるよう、Cyberportは高まる存在感を活かしてきました。Cyberportは、大湾区の約12か

所のテクノロジーパークとの長年の関係を通じて、スタートアップ企業はCyberportのリソースと経験を活用し、本土市場への参入を加速できます。実務面の支援は、会社登記、法務、税務から、規制対応、事業運営、人材採用や設備調達に及びます。深圳市金融発展サービス弁公室や前海深港現代サービス業協力区の当局者を含む大湾区の公的機関とCyberportの戦略的パートナーシップは、越境ビジネスの円滑化と大湾区での事業立ち上げ支援で、スタートアップ企業に恩恵をもたらしています。

さらに、Cyberportの横琴投資有限公司や中国買収合併協会(香港)有限公司といった有力な金融機関との提携は、スタートアップ企業のディールフローや越境ビジネスの発展に繋がっています。また、中国平安保険グループのフィンテック部門であるOneConnectや香港恒生銀行といった大手企業との提携で、スタートアップ企業は大企業の顧客基盤や技術プラットフォームに活用し、ビジネス成長をスピードアップできます。Cyberportのアカデミックパートナーである大湾区ビジネススクールや香港中文大学は、起業家向けのビジネストレーニングと現地の知識・知見を提供し、大湾区への進出を支援しています。Cyberportは、大湾区の主要都市とのつながりを深め、越境起業家コンテストを共催することで、コミュニティ企業により多くの門戸を開こうとしています。Cyberportコミュニティの約70社が大湾区市場に事業を拡大し、同地域に80を超えるオフィスを構えています。

大湾区の明るい見通し

世界のI&T地域として存在感を増す大湾区は、イノベーションと起業に求められる質の高いリソースと投資を呼び込もうとしています。大湾区へのユニークなゲートウェイであるCyberportは、世界中の技術系起業家を歓迎し、卓越した新進気鋭の技術系企業の集合体を目指します。

デジタル化を進める大湾区企業のためのイノベーション・ハブ

Siemensは、事業ポートフォリオをより資源効率の高い工場、強靱なサプライチェーン、よりスマートな設備と送電網、より持続可能な輸送をベースとしたものに刷新し、ドイツの巨大企業からグローバルテクノロジー企業へと生まれ変わりました。

Siemensは、お客様に真の価値をもたらすテクノロジーを創造しています。1911年に最初の香港事務所を開設し、大湾区への進出を果たしました。

香港の資源の活用

Siemensは、香港の競争優位性をふまえ、2017年にスマートシティ・デジタルハブを設立し、お客様のデジタル化をサポートしています。香港サイエンスパーク（HKSTP）、スマートシティコンソーシアム（SCC）、鉄道・地下鉄のMTR、電力大手CLPなどの関係者とのパートナーシップにより、Siemensは香港を出発点として都市の課題に取り組むデジタルソリューションを開発しました。スマートエネルギー、スマートビルディング、スマートモビリティに焦点をあてたこのハブは、企業、スタートアップ企業、デジタル人材がエコシステムのネットワークを通じて共創できるオープンラボの役割を担っています。

このハブは、人工知能技術を用いた冷却装置、再生可能照明システム、スマート設備管理システム、路上積み降ろしエリア監視システムなど、実証済みのデジタルソリューションを共同開発することで成功を収めています。前述のスマートソリューションは、香港のデジタル変革を加速させるだけでなく、政府、技術パートナー、企業スタートアップ企業を密接に結びつけ、スマートシティの未来を形作るものでもあるのです。

香港生産力促進局（HKPC）は、HKSTPにあるリソースを活用するほか、再工業化のビジョンを実現するため、同社に助言を求めました。

Siemensは、HKPCと密接に連携し、香港と大湾区の企業がプラントをデジタル化し、最終的にインダストリー4.0を目指すスマートソリューションの展開をサポートしています。

大湾区の新たな機会と可能性

Elver氏によると、世界有数の高密度都市である香港は、インフラの老朽化、エネルギー需要の増加と複雑化、交通渋滞、かつてないほどの異常気象など、大湾区の都市が遭遇する都市問題に直面しています。こうしたことから香港は、より良い都市を築くイノベーションの大切さを体現する「リビングラボ」にぴったりです。大湾区は、イノベーションがより良い都市を築くという考えを広め、やがてより大きな市場にインパクトを与える機会を生み出し、拡大した大都市の誰もが恩恵を受けることができるよう貢献するでしょう。

Elver氏は、香港には大湾区の各都市へのアクセスの良さ以外にも、大湾区での商機をつかむゲートウェイとして、ビジネスに優位であると確信しています。例えば、自由経済、財政の健全性、競争力のある税制など、ビジネス・フレンドリーな香港の環境は、企業にとって大きなインセンティブとなります。Siemensのようなハイテク企業にとって、健全な法制度と堅固な知的財産権保護は、実用化前のアイデアの革新的開発に安心感を与えます。また、香港には高度人材や専門サービスが充実し、グローバル市場、特に大湾区に関する幅広い知識を提供できることも、スマートシティ構築の重要な要素となっています。

大湾区市場への参入方法を模索するため、Siemensは2019年に「大湾区フォーラム」を開催しました。多国籍企業による初の試みで、大湾区内の都市の間で協力が広がりました。



COVID-19がビジネスのパラダイムシフトを引き起こしている今、デジタルトランスフォーメーションは、大湾区構想の発展に不可欠です。「世界の工房」から「世界水準のベイエリア」へと大湾区の「クラスター効果」をスケールアップする国際的なイノベーション・ハブの役割を、香港は果たしています。



Erdal Elver

President and Chief Executive Officer,
Siemens Ltd.



フォーラムでは、イノベーションを通じて大湾区の発展を後押しするポテンシャルを最大限に引き出すことを目的とし、開催期間中に協力協定が複数締結されました。

近い将来、Siemensは香港のスマートシティ開発を加速させ、急成長する巨大な大湾区での商機をつかむため、デジタル分野に注力する予定です。

香港のイノベーションを促進する

“ 私たちは、香港がテクノロジーによってすべての人々の暮らしを向上させるイノベーション都市に生まれ変わることを期待しています。



Simon Yu

President, Arrow's APAC components business

1935年創業のArrow Electronicsは、電子部品やエンタープライズコンピューティング・ソリューションの産業・商業ユーザー向けに、製品、サービス、ソリューションを提供するグローバルプロバイダーです。Arrowは、18万以上のOEM、委託加工業者、商業顧客のための供給チャネルパートナーです。世界85カ国、300以上の拠点からなるグローバルネットワークを通じて、Arrowはビジネスと日常生活を向上させるテクノロジーソリューションを開発しています。香港は1990年代以来、ArrowのAPAC本部になっています。

イノベーションにおける香港の価値

2016年、Arrowは香港サイエンスパークと提携しArrow Open Labを開設しました。香港サイエンスパークにある6,000平方フィート以上のArrow Open Labには、130万米ドルを超える初期投資により、最先端のエンジニアリング機器とテストモジュールが設置されています。このLabはAPAC地域初で、香港でイノベーションと製品開発を追求するすべての技術系起業家、企業、団体に開放されています。

Arrowは、香港の技術系スタートアップ企業や企業が、マーケットニーズの把握、新しいアイデアの開発、知的財産の調査、製品設計、ソフトウェア開発などに優れていることに着目し、このLabを設立しました。しかし、特にワイヤレス接続、センシング、制御、システムインテグレーションなどの分野では、エンジニアリングの専門サポートが欠けています。Arrowは、これらの欠点を補うことにより、革新的なアイデアを持続可能なビジネスへと発展させ、海外市場へと売り出すプロセスを加速させる機会を見出しました。このように、Arrow Open Labの目的は、製品設計を大幅に強化し、開発サイクルを短縮し、コストを削減することにあります。

Arrow Open Labは、Arrowと香港のテクノロジー分野の双方に有用であると証明され、ワンストップの概念実証設計ワークショップとプラットフォームになっています。企業にとって、開発期間の最大4ヶ月の短縮、エンジニアリング設計コストの最大25%削減につながっています。Arrowは信頼されるアドバイザーとして、開発者にシステム設計の改善方法を指導し、設計コンセプトの策定と実証、部品調達、高速プロトタイピング、テストからシステムインテグレーション、生産前検証まで、開発サイクル全体にわたってサポートします。

大湾区の新たな商機と可能性

Yu氏によると、香港は、Arrowが大湾区やアジア地域への事業展開をさらに進めるための強力な拠点であるといえます。香港にはエンジニアリングや金融の専門家、サプライチェーンやオペレーションの専門家など、若い人からベテランまで、さまざまな人材がそろっています。

大湾区の商機をさらに引き出すために、Arrowは産学連携のネットワークの強みを生かした新たな網羅的なコ・インキュベーション戦略に着手しています。このようなインパクトのあるパートナーシップは香港と大湾区にまたがる活発で競争力のあるI&TEcosystemの構築に大きく貢献するでしょう。このコ・インキュベーションプログラムでは、広東省東莞市の松山湖XbotParkにOpen Lab施設を新設し、香港サイエンスパークにある既存のOpen Labを補強します。

新規開設したOpen Labは、1,500平方フィート以上のラボスペースがあり、さらに1万平方フィートの共同ワークショップスペースを利用できます。国内外のスタートアップ企業は、この地域の大きな市場のポテンシャルを捉えるために、製品設計、開発、テストが行えます。最先端のエンジニアリング機器やテストモジュールを備えた新しいOpen Labは、技術力を高めたい企業を後押しします。また、スタートアップ企業向けに、マイクロエレクトロニクス、センサー技術、コネクティビティ、エッジプラットフォーム、IoTデバイスなどを網羅した、テーマ別の実地トレーニングも実施される予定です。

金融サービス

大湾区発展計画綱要は、大湾区内の金融サービス業全体に大きな商機をもたらします。広東省、香港、マカオは、巨大な市場を形成しています。



なぜ香港なのか？

香港は、中国本土との緊密な経済とビジネスのつながりにおいて、明らかな優位性があります。第14次5ヶ年計画では、大湾区における金融市場の相互運用性、特に人民元の国際化と資産運用のハブとしての香港の役割を非常に重視しています。大湾区プロジェクトは、近年、金融分野において、ストックコネクトやウェルスマネジメントコネクトの各スキームが顕著な成果を上げるなど、具体的な進展を見せています。専門職資格の相互承認の導入、複数の中央銀行デジタル通貨（CBDC）ブリッジ（mBridge）事業、様々な金融商品の試験的発売は、越境金融や、資産運用とウェルスマネジメントの自由化につながっています。

世界第一級の資産運用とウェルスマネジメントの中心地：

この分野では2020年に大きな成長が見られ、運用資産残高（AUM）は前年比21%増の34兆9,310億香港ドル（4兆5,050億米ドル相当）に達しました。香港以外の投資家が、依然として資産運用とウェルスマネジメントビジネスの主な資金源であり、AUMの64%を占めています。統計によると大湾区には投資可能な資産を600万人民元以上持つ富裕層が、45万世帯以上存在します。上海-香港、深圳-香港のストックコネクト制度や大湾区に特化したウェルスマネジメントコネクト制度が開始されて以来、香港の資産運用とウェルスマネジメント市場は傑出した市場となっています。こうした金融の開放措置は、投資家や金融業界の関係者に新たな機会をもたらしています。

 **国際グリーンファイナンス：** ネットゼロやカーボンニュートラルへの取組みが急速に進み、ESGはあらゆる投資会社の投資任務の基本となりました。香港のグリーンで持続可能な金融の発展は、香港が国際的な機関投資家からのグリーン投資に対する強い需要と、グリーン化を進める本土企業の資金調達ニーズの高まりに込められることを意味しています。政府グリーンボンドプログラムによる70億米ドル相当のグリーン債が発行できたことは、香港のグリーン構想に対する世界の投資家の信頼を示すものです。財政長官は、国際的なグリーンファイナンスのハブとしての香港の役割をさらに強化し、国際的なベストプラクティスの一端を形成していくと明言しています。

グローバルなオフショア人民元（RMB）のビジネスハブ：

香港の人民元資金量¹ は世界一です。貿易決済のニーズの高まり、価格の透明性の向上、越境キャッシュルーリングスキームや投資・ヘッジ商品の多様化などにより、人民元を利用する企業が着実に増えています。香港は、人民元建て貿易決済、人民元建て資金調達、人民元建て外国為替取引と資産運用、人民元建て決済のグローバルハブとして知られています。2021年に深圳市政府が香港で人民元建て債券を発行したことは、中国本土の地方自治体が中国本土以外の都市で実施した初のケースで、香港が中国本土の「グローバル化」に最適なプラットフォームであることを示しています。

 **好調な株式市場：** 香港の株式市場は、過去12年間のうち7年間世界No.1の新規株式上場の市場としてランクされています²。また、投資対象が多岐にわたり、取引量も多いため、国際的な機関投資家を惹きつけています。現在、1,100社以上の本土企業が香港に上場し、その時価総額は2兆米ドル以上、香港の時価総額全体の60%以上を占めています。

 **活発なフィンテック・エコシステム：** 香港にはユニコーン5社を含む600社以上のフィンテック企業があり³、フィンテック企業が資金を調達し技術を市場で活用するのに最適な場所です。多くのフィンテックスタートアップ企業や金融機関がデジタル化を進める手段として歓迎している香港金融管理局の「フィンテック2025」戦略は、2025年までに金融セクターが包括的にテクノロジーを導入することを奨励しています。次世代データインフラの構築、フィンテックに精通した人材の拡充、資金調達と政策によるエコシステムの育成、ホールセールとリテールの両レベルでのCBDCと商業データ交換（CDI）の開始に向けた基盤整備を行うとしています。



世界金融センター指数（GFCI）30レポートで第3位： 英国のZ/Yenと深圳の中国総合研究院が2022年3月24日に発表しました。香港は、人的資本、インフラ、金融セクターの発展や評判など、各種分野の競争力において上位を維持しています。



保険： 香港は、世界で最も開かれた保険市場の1つで、保険会社が最も集中し、保険密度がアジアで最も高くなっています。

2020年現在、香港の新規保険の保険料総額は、1,330億香港ドルに達しています⁴。香港と大湾区の注目すべき業績と発展は、次のとおりです⁵：

- 中国本土やマカオのカウンターパートと協力し、アフターサービスセンターを設立
- 香港珠海マカオ大橋を経由して広東省に入る香港車両の第三者保険加入を認める一方承認策を導入
- スペシャルティ・リスク・コンソーシアム（現在38社）を設立し、大口投資プロジェクトにおいて、中国本土のリスク保持者と世界中の専門サービスプロバイダーとのマッチングを支援
- 保険リンク証券（ILS）の初回発行は、3,000万米ドルのカタストロフィボンド（CATボンド）の形で実施（2021年）

[1] Source: Financial Service and Treasury Bureau (2021)

[2] Source: HKEX (2021)

[3] Source: InvestHK (2020/21)

[4] Source: Insurance Authority (2021, Hong Kong)

[5] Source: Chief Executive's speech in Asian Insurance Forum 2021; Insurance Authority

“

香港の金融セクターは、非常に競争力が高く、独特です。大湾区発展計画綱要で香港は、この先導的な役割を継続し、国際金融拠点としての地位を強化・向上させ、「一帯一路」の建設に貢献する投融資プラットフォームを構築すべきだと提言しています。香港と大湾区で多くの取り組みが新たに展開され、うれしく思います。これらは、資産運用とウェルスマネジメントのエコシステムを大きく充実させるでしょう

- ウェルスマネジメントコネクトを通じて大湾区の中間層にリーチできるということは、多くの金融サービス企業にとって非常にエキサイティングなことです。国内外の投資家にとって市場を融合する大きな動きであるためです。
- 新たに制定されたキャリードインタレスト優遇税制、香港に本拠を置くリミテッドパートナーシップファンドの設立、既存のオフショアファンドが香港のオープンエンド型ファンド会社として、または香港のリミテッドパートナーシップファンドとして香港を再び拠点とできるようにする再拠点化制度の導入は、香港の国際競争力をさらに高めるものです。

- このような香港の取り組みは、中国本土が開放を進め、この地域の魅力と競争力が高まっていることと相まって、金融関係者の関心や活動を大きく引き付けています。



Rex Ho

Asia Pacific Financial Services Tax Leader,
PwC China (incl. Hong Kong) |

Member of the New Business Committee of the
Financial Services Development Council,
Hong Kong

”

香港経由で大湾区の機会をどう捉えるか？

中国で最もオープンな経済地域の1つである大湾区は、金融と投資に関する制限を急速に撤廃してきました。2016年以降、新たな開放政策により、大湾区居住者の越境投資チャネルがさらに拡大し、金融市場の相互取引が進むとともに、広東・香港・マカオの融合に向けたハイレベルな開放の新しい形を作っています。

2016年12月

深圳-香港ストックコネク

香港証券取引所、深圳証券取引所、香港中央結算有限公司と中国証券登記結算有限責任公司（ともに中央清算機関）によって開発された証券取引・清算・決済プログラムです。本プログラムは、中国本土と香港の相互の市場アクセスを飛躍的に向上させることを目的としています。

2019年9月

QFIIの制限解除

この制限解除により、QFIIとRQFIIの利便性と柔軟性は高まりました。例えば受入通貨の種類とタイミングを独自に選択でき、利益の送金手続きも大幅に簡素化され、カストディアンの数に制限がなくなり、適格機関投資家1社が複数の本土内のカストディアンに委託できるようになりました。

*QFII: Qualified Foreign institutional investor (適格外国機関投資家)
*RQFII: RMB Qualified Foreign institutional investor (人民元建て適格外国機関投資家)

2020年9月

大湾区 - グリーンファイナンス連盟 (GFA)

グリーンプロジェクトの資金調達ルートを拡大し、政府の政策や投資プロジェクトの指針となる市場ベースのアドバイスを行うために設立されました。大湾区は、広東省の膨大なグリーン投資需要と香港・マカオのグリーンファイナンス能力を活用することができます。

*GFA: 広東省、深圳市、香港、マカオが共同で推進し、グリーンファイナンスのイノベーションのための人材、技術、資金を結集させるイニシアティブ

2021年9月

越境ウェルスマネジメントコネク

この相互市場アクセススキームは、大湾区、香港、マカオの適格居住者が、それぞれの銀行システム間で確立されたクロズドループの資金フローチャネルを通じて、互いの市場で銀行が販売するウェルスマネジメント商品に投資できるようにするものです。

ボンドコネク - 南行き取引

南行き取引は、中国本土の金融機関が海外に投資するための新たなチャネルを提供します。

2016年12月.....2017年7月.....2019年9月..... 2020年5月..... 2020年9月.....2021年9月...2021年10月.....▶

2017年7月

ボンドコネク - 北行き取引

中国の相互市場アクセスが一歩進み、中国本土と海外の投資家が香港の市場でのインフラ連携を通じて互いの債券市場で取引できるようになりました。北行き取引は2017年7月3日に開始され、中国本土銀行間債券市場へのアクセスをより幅広い海外投資家グループに提供しました。

2020年5月

大湾区「ファイナンス30」

金融政策を自由化し、大湾区を中国本土で最もオープンな地域にします。

- 大湾区における越境貿易、投資、資金調達の円滑化を促進し、人民元と外貨の交換と越境流通の活用を強化
- 金融業界の開放を進め、中国本土と香港・マカオ間の金融協力を深化
- 広東省、香港、マカオ間の資金調達チャンネルを多様化し、金融市場と金融インフラの相互接続を促進

2021年10月

香港でオフショア人民元建て地方債を発行

深圳市政府は、香港で50億人民元以下のオフショア人民元建て地方債を発行しました。これは、中国本土の地方自治体が本土以外で債券を初めて発行したケースです。この発行は、香港が中国本土の「グローバル化」を進めるのに最適なプラットフォームであることを示すとともに、香港の人民元建て債券市場の幅と深さを広げ、中国本土と香港の金融協力を強化することで、香港の金融サービスの発展における新たなマイルストーンとなりました。

大湾区は戦略的優先地域

大湾区は、私たちにとって大きなポテンシャルのある市場です。この市場機会を最大限に活用するには、機敏でダイナミックでありながら、よく考え、同時に金融サービス業界の緩やかな発展にも忍耐強くあらねばなりません。さらに重要なのは、大湾区のすばらしいI&T環境と人材を活用し、サービスソリューションに変化をもたらす、当行のテクノロジー能力を確立していくことです。



Anthony Lin
Chief Executive Officer of GBA,
Standard Chartered

補注： Standard Chartered GBA Centreは、 Standard Charteredグループの大湾区投資開発戦略上の主要な活動の1つとして、 Standard Chartered BankとStandard Chartered Bank (Hongkong) Limitedが2020年8月に投資したプロジェクトです。同プロジェクトは、広州国際商業センター（ICC）に7階建てのオフィスを設立し、 Standard Charteredグループの様々な法人や支店を受け入れるオフィス拠点とするものです。現在、 Standard Chartered Global Business Services (Guangzhou) Co., Ltd と Standard Chartered (Guangzhou) Business Management Co., Ltd がICCで業務を行っています。これら2つの法人は、 Standard Charteredグループにグローバルバックオフィス業務サービス、テクノロジーソリューション、イノベーションサービスを提供しています。また、ICCの不動産使用権を保有し、不動産サービスをそれぞれ提供しています。今後は、 Standard Chartered の他の法人や支店の入居も計画しており、準備が行われていきます。

Standard Charteredは、中国に進出した最も古い国際銀行の1つで、1858年に初の支店を出しました。上海と香港を皮切りに、中国国内の各都市に支店を広げています。現在、香港、広州、深圳、珠海、マカオと仏山の6都市に約90店舗を展開し、中国全土に広い事業ネットワークを持っています。

大湾区は重要な市場であり人材の拠点

2020年、 Standard Charteredは、 Standard Chartered GBA Centreを広州に設立し、総投資額は4,000万米ドル、2023年末までに従業員数が1,600名を超える見込みです。2020年10月に大湾区担当CEOに就任したLin氏は、「当行は、大湾区イニシアティブを展開し、大湾区ビジネスを戦略の中心に据えようと全力を注いでいます」と述べています。「大湾区CEOの役割は象徴的です。 Standard Charteredにとって、この市場がいかに重要であるかを映し出しています。企業や機構・団体からHNWI(超富裕層)を含む富裕層まで幅広いお客様のために、大湾区での事業拡大や人材育成に多額の投資を行っています」とLin氏は紹介しました。

「 Standard Chartered GBA Centreは、この地域のリテールバンキングとコーポレートバンキング双方の業務を支援し、革新的な金融ソリューションの開発と活用を促進し、越境銀行サービスを強化します。特に、研究開発に投資し、優秀な人材を集めることは、私たちが成功を続ける上で極めて重要です」とLin氏は付け加えました。

中国本土と世界を結ぶスーパーコネクタとしての香港

Lin氏は、国際金融センターとしての香港の役割と、大湾区の成長にとっての香港の戦略的重要性に大きな確信を持っ

ています。「香港は、中国本土と世界を結ぶスーパーコネクタで、堅固な金融インフラ、健全な法制度、国際的なビジネスニーズに対応する優れた人材を備えています。大湾区は中国本土の開放に重要な役割を果たしていますが、私たちは香港での成功体験を生かし、金融セクターの各開放政策がもたらす機会をつかみ、中国本土の都市でより多くの新規顧客にアプローチしていくつもりです」とLin氏は述べています。

大きな可能性を秘めた急成長市場

Standard Charteredは、中国に精通した国際的な大手銀行として、中国企業の海外進出の支援、国際投資家の中国オンショア市場へのアクセスの支援、人民元の国際化推進、地域のさまざまなお客様へのシームレスな越境銀行サービスを行う立場にあります。「当行は、大湾区における数々のエキサイティングな取組みに加わることができ光栄です。例えば、 Standard Charteredは、2021年6月に国家開発銀行が発行した、資金用途を大湾区の開発とする点心債の共同主幹事会社を務めました。2021年11月には、遠東宏信(Far East Horizon)が中国銀行間市場で1.5億人民元のサステナビリティ・パンダ債を発行する際に支援しました。また2021年10月には、越境ウェルスマネジメントコネクスキームの下で商品の発売を成功させた最初の銀行の1つとなりました。これらはすべて、大湾区が巨大な商機がある活気ある市場だということをと改めて示すものです」とLin氏は述べました。

大湾区にエンパワーされる香港の保険

Sun Life Hong Kong は、1892年にSun Life Assurance Company of Canadaの100%子会社として設立されました。Sun Life Assurance Company of Canadaはカナダで設立され、Sun Life Financial Inc.の100%直接子会社です。トロント、ニューヨーク、フィリピンの各証券取引所に上場しているSun Lifeは、個人や法人のお客様のニーズを満たす最高品質の保障とウェルスマネジメント商品の提供に力を入れ、個人と団体の生命・医療・財産に関する商品を広く提供しています。

大湾区の新たな機会と可能性

Sun Lifeは、中国広大(China Everbright)と設立した合併会社Sun Life Everbrightを通じて2002年以降、中国本土で大規模な事業展開をしています。この合併会社は中国本土に拠点をもち、24の省と都市に事業を広げています。Tsoi氏は、活気ある大湾区の成長を目にし、この地域が今後10年から15年の間に世界の保険市場発展の原動力となることを期待しています。前海は、企業や人材の誘致するために多額の助成金を出しています。金融機関の進出・事業運営を支援するため、前海当局は助成金についての詳しいガイドラインを公表しました。広東省は、中国本土の中産階級、富裕層やHNWI(超富裕層)がかなりの割合で居住する地域です。同省は中国の人口の5%に過ぎないものの、GDPの約12%を占めています。大湾区の9つの都市の現在の市場規模(560億米ドル)は、香港の市場規模(720億米ドル)に近いものです。富と購買力の拡大が保険料の伸びを後押しするにつれ、保険の需要は増えると予想されます。そのため、大湾区9都市の保険料総額は2030年末までに倍増する可能性があるとして、Tsoi氏は予想しています。

大湾区における保険の役割

香港政府は、香港を保険リンク証券の中心地にしようと、その発行に関する新たな規制の枠組みを最近発表しました。リスクを軽減することは保険のコアバリューであり、保険商品を効果的に利用すれば、大湾区でのビジネスの不確実性を乗り越え、大湾区の市場の信頼につながります。また、香港特別行政区政府は、香港-珠海-マカオ橋を経由して広東省に入る香港の車両に第三者保険を適用できるようにする一方的承認策を導入するなど、他の取り組みも進行中です。また、大湾区を定期的に往来する人に大きな利益をもたらすものとして、越境健康保険やその他の革新的な保険商品の開発の可能性も検討されています。

成功の鍵としての人材

最も重要なこととして、企業が大湾区で成功するために克服しなければならない最大の課題は、適切な人材を見つけることだとTsoi氏は考えています。保険業界の発展と変革に貢献する優秀な人材を世界中から集め、確保することも含まれます。これについては、中国本土と香港間の法律専門家資格の相互承認などの新しい取組みに見られるように、進展が見られています。こうした進展は、大湾区への投資家や人材を惹きつけるための絶え間ない努力の賜物です。このような進展は、大湾区に投資家や優秀人材を呼び込むために行われている絶え間ない努力のたまものです。

Tsoi氏は、企業は少し異なったプロフィールを持つ人材の獲得に前向きであるべきで、スキルアップや再教育の機会を



大湾区は、中国の国家戦略であり、政府が展開する有利な政策が多くあり、今後も継続されるものと見ています。



Catherine Tsoi

Chief GBA Strategy Officer, Sun Life



提供し、人材の流動性を高めるよう勧めています。キャリアアップや能力開発、トレーニングの機会を提供できる企業は、大湾区での人材獲得において有利になるでしょう。大湾区青年雇用制度への参加を通じて、企業が香港政府から助成を受けながら、従業員が視野を広げ、大湾区での新たなキャリアパスを模索してもらうことができます。

香港は、CurrencyFairが企業や富裕層をターゲットにしているアジアの重要拠点です。



Paul Byrne

Chief Executive Officer, Zai

フィンテックの新星

Zaiは、2つのブランド、CurrencyFairとAssembly Paymentsが合併してできた会社です。この新ブランドは決済、外国為替、不正管理、リコンサイルなど、より幅広い総合金融サービスを世界中の中堅・中小のビジネス顧客に提供しています。

Zaiの従業員数は、170名を超え、2025年までに450名に増員し、現在APAC、欧州、中東、米国でプレゼンスを拡大しています。

香港を通じたアジア市場の開拓

CurrencyFairは、2019年にアジア拠点として香港オフィスを設置しました。「アジア市場は長い間、当社の成長戦略に盛り込まれていました」とByrne氏は説明します。「香港政府は、卓越したインフラと非常に強力なビジネス推進政策とともに、資金調達支援や新たな取組みを行い、フィンテック業界にとっても協力的です」

「さらに、香港ではほとんどの人が英語と中国語を話せるため、アジアに進出する企業や国際事業を立ち上げる企業にとって理想的な場所と言えます。また、香港には堅固な司法・金融制度があり、既存企業とスタートアップ企業の双方に非常に魅力的です。中国本土に30分でアクセスでき、越境ビジネスがやりやすく、本土パートナーとの関係も構築できます」とも述べています。

中国国内の豊富なリソースとビジネスパートナー

CurrencyFairは香港への進出後間もなく、中国のB2BマーケットプレイスであるBuy-Worldとの提携を発表しました。「Buy-Worldとの提携は、私たちが世界中の個人や企業に、統合金融サービスを提供する上で、大きなマイルストーンです」とByrne氏は述べました。「当社がこのマーケットプレイスモデル用に開発した決済方法によって、Buy-Worldとそのオンライン取引業者は大幅なコスト削減と自動化を実現できるでしょう。このビジネスモデルは、中国のサプライヤーと海外のバイヤーをつなぐ革新的な方法を提供します」

中国の大湾区ビジョンとともに成長

ビジネスマンのByrne氏にとって、香港はアジアの重要拠点であり、CurrencyFairは、大湾区内外で迅速、安全かつ安価に送金したい企業や富裕層をターゲットにしています。

顧客中心主義による成長

Byrne氏は次のように述べました。「Zaiは、金融サービスの未来を大胆に変えることを目指しています。私たちは、これまで別々の会社として達成してきた大きな成功の上に、革新的なサービスと製品を提供しお客様を支援します」

「市場規模2兆米ドルの決済市場に無数に広がる成長機会に対応しながら、今後も顧客中心主義を貫きます。5つの中核機能（支払い、グローバル決済口座、パートナーエコシステムのサポート融資・決済、決済サービス）を中心に問題解決と付加価値の向上に取り組んでいきます」

ビジネス・専門サービス

(弁護士・会計士・コンサルタント等)

国際的な商取引や投資環境はより複雑化しており、新しい産業政策や規制制度が策定されています。企業が新しい市場の開拓、組織変更、海外進出、買収や再編を検討する場合、商業上および法律上の取り決めは複雑なものとなります。大湾区の企業は、国際事業に関する業務を効果的に処理し、商取引上の紛争やその他の課題に迅速に対応する必要があります。そのため、専門サービスの需要がますます高まっています。

世界トップクラスのビジネス・専門サービス業界を誇る香港には世界中から才能豊かな人材が集まり、多様な専門サービスソリューションを提供しています。大湾区は現代サービス業の分野において、より大きな市場とよりハイレベルな協業先を提供します。これらすべての要素が、業界関係者の継続的な成功と、この地域の企業の持続的な成長の支援に貢献することでしょう。



なぜ香港なのか？

香港には広範囲にわたる分野の専門家がいます。例えば、科学技術、法律、会計・税務、建築、エンジニアリング等のビジネス専門サービス分野があり、活気に満ちています。

世界中から人材が集まり、歓迎される

香港はこのような専門分野における豊富な人材から恩恵を受けています。ダイナミックで開かれた経済、国際的で多様なビジネス文化、そして香港の質の高い高等教育制度が優秀な人材を惹きつけ、育ててきました。彼らはフットワークが軽く、アジア市場で積極的な役割を果たしています。

香港域内または海外で取得した資格を有する香港の専門家は、高く評価されています。多くの国際的な専門家組織・協会が香港に事務所を設置し、会員をサポートしています。在香港の専門職資格保持者の数は近年着実に増えています。

これらの専門家は香港を、キャリアをスタートさせ、ビジネスネットワークを確立し、会社を設立するのに最適な場所であると感じています。中国本土の企業に近く、大湾区との境界を越えた専門的資格の相互承認が進んでいるため、これらの業界関係者には既に十分な商機があります。そのため、法律や建築、会計、コンサルティング、人事等の分野でトップクラスのグローバル企業は香港に地域本部を設置し、大湾区に進出しています。



中国本土と香港間の経済貿易緊密化協定（CEPA）に基づく先駆者優位

CEPAは、中国本土と香港が締結した最初の自由貿易協定です。最初の協定は2003年に締結され、CEPAは長年にわたって内容と範囲を拡大し続けてきました。2019年のCEPA改正では、金融サービス、法律サービス、建設、試験・認証、テレビ、映画、観光等、幾つかの重要なサービス分野で新たな自由化措置が導入されました。香港のサービス提供者は、本土での会社設立や事業展開に関する新たな措置の恩恵を受けています。香港の特定分野の専門家は、前海、横琴および南沙の経済特区を含む本土の試験区域での事業が許可され、香港の有資格サービス提供者は本土市場に参入することが認められています。

香港のサービス提供者が中国本土市場に参入する際の促進措置の例

| | |
|-------------|---|
| 法律 | 香港と中国本土の法律事務所が共同設立したパートナーシップにおける香港側の最低出資比率の撤廃 |
| 医療サービス | 香港で登録されている法定医療従事者が中国本土で短期間サービスを提供することを認める |
| 会計 | 中国公認会計士（CPA）の資格を持ち、中国本土で事業を行っている香港の会計士（含パートナーシップ）は、中国本土での年次居住の要件に関して、中国のCPAと同等とみなされる |
| 建設・エンジニアリング | 香港の建設関連の専門家は、専門資格や試験の相互承認を通じて、中国本土全域で登録・事業を行うことが可能 構造エンジニア、プランナー、建築測量士、建築家に関する協定を含む、資格の相互承認に関する期限が切れた協定の更新 |

香港のビジネス・専門サービス産業は世界トップクラスであり、高度に多様化しています。香港は企業や人材が本土で事業を拡大し、キャリアを発展させるための重要な足がかりとなっており、特にビジネス・専門サービス分野ではその傾向が強く表れています。

 CEPAの下での「サービス貿易」の自由化についての詳細は：
https://www.tid.gov.hk/english/cepa/legaltext/cepa13_201812.html

大湾区における商機を香港経由でどう捉えるか？

大湾区における市場

広州と深圳のサービス産業は、中国本土の大湾区の9都市の中で最も発展しています。

- 広州市：2020年、サービス業の付加価値は1兆8,100億人民元で、対前年2.5%増。金融サービスの付加価値は8.3%増
- 深圳市：2020年、サービス業の付加価値は1兆3,080億人民元で、対前年6.4%増。第三次産業の付加価値の76.1%を占めた。金融サービスの付加価値は4,190億人民元で、対前年9.1%増。通信、ソフトウェア、ITの付加価値は2,880億人民元で、前年同期比11.3%増

大湾区のさらなる自由化

深圳：2020年以降、深圳市政府は海外の専門家が深圳および大湾区で開業することを奨励する様々な措置を発表しています。主な目的は（1）グローバル人材による本土資格試験の受験における制限の撤廃（2）グローバル人材に対する職能評価制度の促進（3）グローバル人材が現地での実務を迅速に開始できるよう詳細な特別措置を策定などです。

- 2021年後半から、香港やマカオの居住者で以下の11分野の専門資格を持つ人は、登録後に深圳で事業ができるようになりました。金融、税務、会計、法務、建設・建築、都市計画、文化・観光、医療・ヘルスケア、海洋サービス、教育、安全管理サービス

- 2022年初頭、前海区は有資格のグローバル人材が登録後、深圳*で開業できるようにするためのポジティブリストを公布。同リストには6業種（税務、建設・建築、都市計画、医療、海洋、文化観光の各サービス）の計20職種が含まれている

*特定の業種では大湾区の他の地域や中国本土の都市でも開業が可能

- 深圳は、様々な専門サービスの国際的に認知された資格を承認する仕組みをさらに検討

珠海市：2020年12月より、香港とマカオで登録済みの旅行代理店は、関連当局への登録後、横琴区で観光ガイドサービスを提供できるようになりました。

広州市：2021年2月、大湾区発展指導グループは、広州市南沙区に国際人材特区（ITSZ）を設立するための実施計画を公布しました。ITSZでは、グローバル人材は人材補助金、住宅支援、プロジェクト資金、ビザ手続きの効率化等を楽しむことができます。ITSZでは、人材に賞や補助金を提供するほか、広東省へのグローバル人材を誘致促進するため、さまざまな優遇政策を展開します。

“

「広東・香港・マカオ大湾区発展計画綱要」では、大湾区の各都市が香港の有能なビジネス・専門サービスや人材を活用し、中国本土のサービス産業や製造業をさらに発展させる、と強調されています。大湾区の各都市政府は改革を発表しています。深圳の試験的スキームが1年経過した2022年初頭までに、すでに400名以上の各業界のグローバル専門人材が深圳で登録し、業務を開始しています。この中には、香港・マカオ出身の約70名の税務の専門家、香港出身の約40名の医師、香港出身の320名以上の建設・都市計画の専門家が含まれています。

かつて、税務の専門家は中国本土で（税務師として）開業するためには試験に合格する必要がありました。現在では、試験は登録制度に置き換えられています。国際的な資格が認められるようになったことは、非常に心強いことです。すべての専門家はビジネスを拡大するために、常に最新情報を入手しておくことをお勧めします。



Jeremy Choi

Hong Kong Partner

PwC Hong Kong | Former President of the Taxation Institute of Hong Kong

”

香港は大湾区の原動力

大湾区の政策により、この地域の都市は共通の目標を達成するためにさらに協力し合うことになるでしょう。大湾区は多大な成長を生み出し、すべてのビジネス部門に商機をもたらすでしょう。専門会社として、私たちはこの地域の人材と資源を動員し、その潜在能力を最大限に引き出し、継続的に専門性を高め、競争力を強化します。



Michael Kwok
East Asia Region Chair, Arup

Arupはデザイナー、プランナー、エンジニア、建築家、コンサルタント、テクニカルスペシャリストによるグローバル企業です。1946年にロンドンで設立され、現在は世界33カ国に89のオフィスを構え、16,000人以上のスタッフを擁します。大湾区内では香港、マカオ、深圳、広州の他上海や北京等にもオフィスを構えています。Michael Kwok氏はArup Groupの役員であり、2017年よりEast Asia RegionのChairを務めています。専門は土木・構造工学で、同地域で35年以上のプロジェクト経験を持つ同氏は、中国本土におけるArupの事業と運営の発展において重要な役割を果たし、同地域で最も革新的な都市プロジェクトの幾つかを主導しています。

香港を介して市場の商機を捉える

香港はArupの東アジアの地域拠点です。同都市は西と東を結ぶ重要な情報拠点であり、グローバル人材を集め、多国籍企業により良いサービスを提供するために越境ビジネスの経験を蓄積しています。「Arupは45年以上前から香港市場に参入しており、その優位性を活かしています。香港での長年の経験、質の高いサービス、中国文化への理解により、中国本土市場において実りある成長を遂げることができました。私たちは35年以上前に中国本土での活動を開始し、主に国際投資家のプロジェクトに参画してきましたが、現在では地元政府や国内企業のプロジェクトにも定期的に参加しています。中国本土における市場アクセスの継続的な自由化と、海外専門家の受け入れ許可は、私たちのような専門家集団に多大な商機を与えてくれました」とKwok氏は言います。

「広東・香港・マカオ大湾区発展計画綱要」の目標の1つは同地域内の各都市の連結性を高めることです。そのため、新しいインフラやメガプロジェクトが生まれています。

「中国本土の市場が急成長していることを実感できるのは喜ばしいことですが、同時に、クライアントの要求の高まりに応えることは大変なことです。Arupは深圳の『中國華潤大廈』、広州の『広東大廈』、世界最長の海上横断橋『香港珠海マカオ大橋』等、大湾区の多くのランドマークプロジェクトに携わることができ、光栄に思っています。私たちの成功のカギは、香港人スタッフの変化への適応力、高い生産性、効果的な問題解決能力、越境プロジェクトに従事する際のフットワークの軽さ、そして中国本土側のスタッフとの強力な連携にあります。境界を

挟んだ各都市の交流が深まることで、より多くの創造性と有意義なアウトプットが生まれるのです」と同氏は付け加えます。

大湾区におけるコンサルティングビジネスの展望

中国本土の都市化には、スマートで持続可能、グリーンかつレジリエントなアプローチが必要であり、大湾区は都市クラスター戦略を展開する上で不可欠な地域です。国務院が発表した「前海深港現代サービス業協力区」の拡大計画と香港政府の「北部都会区発展計画」は双方の将来の協力関係について洞察を与え、香港の専門家にさらなる商機を提供するものです。

Arupは「大湾区で開業する香港のエンジニアリング建設コンサルタント企業の経営陣と専門家のための暫定ガイドライン」の下、このほど香港のエンジニアリングコンサルティング会社として初めて、広東省住宅・都市農村署から開業証明書を取得しました。これにより、同社は中国本土の9つの大湾区都市におけるプロジェクトに直接参加できるようになりました。またこの制度により、2つの政府リストに掲載されているコンサルティング会社や香港の関連登録機関に登録されている専門家は、簡単な登録システムを通じて本土で同等の資格を取得することにより、大湾区で直接サービスを提供できるようになりました。「ArupはGBAの急速な発展を目の当たりにし、その成長を支えるために積極的な役割を担っています。若い専門家の皆さんには、ぜひ大湾区に足を運び、そこでキャリアを積むことを検討していただきたいと思います」とKwok氏は締めくくりました。

グローバル拡大戦略における香港

香港でのプレゼンス - 30年、そしてその先へ

King & Wood Mallesons (KWM) は、世界30カ国に2,000名以上の弁護士を擁するグローバルな法律事務所です。2020年10月、KWMは香港での設立30周年を迎えました。KWMは香港では初めて、香港、中国本土、イギリス、アメリカ、オーストラリアの5つの国・地域で開業が許可された国際法律事務所です。200名以上の香港、中国本土、その他国際資格を持つ弁護士を擁する香港最大の国際法律事務所となることで、大きな飛躍を遂げました。

KWMは中国本土に14のオフィスを持ち、特に近年は「一帯一路構想（BRI）」に関連した多くのインバウンド、アウトバウンド投資プロジェクトに参画しています。KWMのパートナー弁護士2名は、アジアインフラ投資銀行への1年間の出向をまもなく終えるところです。さらに、これらの複雑なプロジェクトに必要なあらゆる専門知識と文化的知識をBRIのクライアントに提供するため、オフィス横断型の協業チームが結成されました。

中国本土とのより緊密な協力関係

紛争解決弁護士の観点から見ると、中国本土と香港特別行政区政府の間で結ばれた2つの文書協定により、香港は中国本土の取引先とビジネスを行うBRIのクライアントにとって唯一無二の拠点となっています。

まず、独自の「中国本土と香港特別行政区政府の裁判所における仲裁のための裁判所命令による暫定措置の相互協力に関する手配」は、中国本土または香港の承認された仲裁機関の一つを選択して仲裁を行う当事者が、その仲裁を支援するために互いの管轄区域で暫定措置を

申請することを可能にします。これによりBRIの当事者には、その所在地にかかわらず、他の仲裁地では利用できないユニークな資産保護の手段が提供されます。

KWM香港オフィスで紛争解決チームの責任者を務めるPaul Starr氏は、KWM上海オフィスと協力して、香港で実施される仲裁を支援するために上海金融裁判所を通じ、中国本土の3億6000万米ドル相当の資産凍結に成功し、これが最初のケースとなりました。

2つ目の重要な協定は「中国本土と香港特別行政区における仲裁判断の相互執行に関する手配」で、香港の仲裁裁定を得たBRIの当事者は、例えば相手の主要資産が中国本土に存在する場合、当該地での執行承認を容易に得られるというものです。この取り決めにより、現地の裁判所が執行を拒否することはできなくなり、拒否する場合は北京の最高人民法院に申し立てる必要があります。このことは、現地の裁判所にとって非常に重要な指針となり、香港の仲裁裁定の支持に関する統計は素晴らしい結果を示しています。

重要な戦略における香港

香港自体に目を向けると、仲裁を行う当事者が現地の裁判所からの協力を必要とする状況があります。香港はコモンロー制度を誇り、英語での審理が可能な裁判官を擁し、また最も重要な点として、香港には世界でも有数の最終上訴裁判所（CFA）があり、自身の本拠地とするコモンウェルス各国でトップレベルの裁判官である客員裁判官たちが在籍します。CFAの現在のメンバーには、イギリスの上訴院判事やオーストラリアとカナダの元最高裁判事が存在します。



KWMは2018年に深圳にKWM国際センターを設立し、香港、深圳、広州、三亜、海口の各オフィスと連携し、香港および海外のクライアントが大湾区での商機を探る際に、複合的なKWMのサービスを提供します。

大湾区の主要都市との接続がますます緊密になり、国際貿易、金融、輸送のハブとしての戦略的位置付けから、香港は重要な役割を果たすであろうとKWMは確信しています。2018年に設立されたKWM国際センターは、香港、深圳、広州、海南（三亜、海口）の各オフィスと連携し、GBAでの商機を探る香港および海外のクライアントに複合的なKWMのサービスを提供します。

ポストCOVIDのニューノーマル時代においても、KWMは引き続きクライアントの希望するBRI拠点に同行し、現地でクライアントと協力して最良の結果を得られるよう取り組んでいきます。

香港：持続可能なビジネスの成長のための理想的な場所

香港のESG規制の枠組みの成熟度とESG投資のトレンドから、香港は中国本土や国際市場全体でより広く採用できるベストプラクティスを提示できる重要な地域と言えます。



James Chen (General Manager) and his team,
Dun & Bradstreet

米国に本社を置くDun & Bradstreetは、1841年に設立されたデータ分析のグローバルマーケットリーダーで、世界各地にオフィスを構えています。

持続的な事業成長への足がかり

持続可能な投資に対する市場の意識の高まりを受け、Dun & Bradstreetは企業がESGの要素をビジネスに取り入れるための一連のソリューションを提供しています。「ESG（環境、社会、ガバナンス）は、今後成功する多くの企業にとって重要な分野となりつつあります。ESG投資に取り組む人が増えるにつれ、市場ではESG格付けや分析、データカバレッジ等のサービスに対する需要が高まっています」と同社香港法人のGeneral ManagerであるJames Chen氏は述べています。

同社は2020年に香港に専門チームを設置し、企業のESGへの取り組みをナビゲートし、持続可能なビジネス成長を実現することを目指しています。

香港を経由した中国本土でのESG商機の獲得

「香港はアジアにおける貿易の中心地であり、企業のサプライチェーンをより深く理解するために不可欠な場所です。香港はESGソリューションの開発に理想的な場所と考えています。香港の資金調達、インフラ整備、リスク管理はアジアでも群を抜いており、私たちにとって重要な戦略拠点です」とChen氏は語ります。

同氏によると、中国政府はグリーンファイナンスを重視しており、中国本土ではESGソリューションへの需要が高まっているとのことです。

「中国は現在、世界最大のグリーンボンド発行国の一つとなっています。大湾区や一帯一路構想に関係する企業はリスクを軽減し、収益成長を加速させるための持続可能な方法を求めています。中国本土へのゲートウェイである香港は、中国本土の需要と増大する国際的な資本供給をマッチングさせる重要な役割を担っています」と同氏は指摘します。

香港への投資は「未来への投資」

香港は国際的なビジネス拠点として、長年にわたり高い評価を得ており、司法制度も法務や契約において優れていると多くの人々が認めていることから、今後も重要な役割を担うことになるでしょう。大湾区のビジョンが展開される中で、Dun & Bradstreetは香港が同社の事業において継続的に重要な役割を果たすと見ています。

同社の香港オフィスは過去15年にわたり、同地域のクライアントのビジネスデータや分析ニーズに応えるだけでなく、中小企業を含めた香港企業との取引を希望するグローバル企業の顧客もサポートしてきました。今後もデータ、製品、テクノロジー、分析のサービスを拡大していく予定です。

「私たちは香港に、そして香港の未来に投資しています。ビジネスの観点から、私たちは人材、スキル、データ、テクノロジーに投資しており、それは香港の経済、企業、そして未来を牽引する重要な要素と一致するのです」とChen氏は締めくくりました。

大湾区への事業拡大における最前線

Synpulse Management Consulting (Synpulse) は、世界中に17の拠点と700人以上の従業員を擁する国際的な経営コンサルティング会社です。1996年の設立以来、スイスの小さな会社から、主要な金融市場を網羅し、多くのオフィスを持つグローバルな経営コンサルタント会社へと成長し、その規模と能力を拡大してきました。同社は急速に変化する規制、技術、顧客環境の中で成功し、際立つ存在になろうと努力する金融サービス機関と提携しています。

香港での急ピッチな展開

Synpulseは香港が北アジアのクライアントに近接し、国際金融サービスの主要拠点であることから、同地域でのビジネスチャンスを探るため、2015年に香港市場に参入しました。同社は自らを銀行と保険に特化したコンサルティングおよびテクノロジー企業であり、顧客のバリューチェーン全体にわたるワンストップショップであると位置付けています。弱点の評価から戦略の策定と実施まで、主に変革の実現、実行、安定化を通して顧客と関わっています。

わずか5年余りの間に、香港進出の成果は出ています。同社の顧客リストは、国際的な大手銀行や保険会社でしたが、中国本土や台湾の銀行も含まれるようになりました。大中華圏におけるこの驚異的な成長の勢いは、同社の地位をさらに強化しており、また深圳にオフィスを構えることで、大湾区でのプレゼンスを拡大する原動力にもなっています。

大湾区における新たな戦略と商機

SynpulseのGreater China部門でManaging Partnerを務めるSalomon Wettstein氏は、同社が中華圏事業の延長線上に深圳オフィスを設立したことで、大湾区に参入するのに良いポジションにいると確信しています。

同社は大湾区での事業拡張計画、戦略、活動のためのワーキンググループを立ち上げました。オーダーメイドサービスとクラウドインフラのセットアップと保守を伴うXaaSの両方のソリューションを提供するため、プロジェクト管理、ビジネス分析、実装の専門知識を持つ経験豊富なコンサルタントのチームと、デザイナー、データサイエンティスト、エンジニアのチームを作っているところです。さらに、2022年第1四半期末までには、深圳市前海にオフィスを設置する予定です。また、2022年末までに24名のデザイナー、エンジニア、コンサルタントのチームを構築する予定です。

同社には、香港深圳科学技術イノベーション協力区の開発を活用するという機会がもう1つあります。同社は前海に支社を設立した後、福田にもオフィスを開設する予定で、GBAで活動する企業がデジタル変革を加速できるよう支援することを目標としています。大湾区を国際的な情報通信技術ハブに発展させるイニシアティブの一翼を担いたいのです。

大湾区での事業拡大における香港独自の役割

香港市場での長年の経験は、ローカライズして大湾区特有の市場の要求を満たすための洞察を提供することが可能であると、Wettstein氏は語ります。Synpulseは市場のギャップを埋め、銀行と保険のソリューション、特にデジタル化のためのテクノロジーとプラットフォームの知識において、その需要に応えることができるのです。

香港と中国本土の金融市場は、様々なコネクスキームの立ち上げと成長により、大きく融合し続けており、特にクライアントが中国本土に子会社を持つ同社のようなコンサルティング会社には多くのビジネスチャンスが存在しています。中国本土の能力と競争力は、I&Tの分野で広く認められており、フィンテック業界におけるデジタルソリューション技術の高品質な



香港滞在は6年になりますが、大湾区の発展には本当に驚かされました。私は熱心なランナーで、余暇にはランニングや香港の山歩きをしています。晴れた日には、ランタオピークのお気に入りのコースから、香港からマカオ、深圳、珠海まで大湾区全体を見渡す素晴らしい景色を眺めることができます。高層ビルや橋が瞬く間に建設されるのを見ましたが、たった10年でこれだけの変化があったとは今でも信じられません。

Salomon Wettstein
Managing Partner, Greater China
Synpulse Management Consulting

開発を加速させる上で、中国本土が大きな役割を果たすことは否めません。同社は大湾区で成長を続け、新しい設計・エンジニアリング事業である「Synpulse8」を立ち上げて技術的・デジタル的専門性を高めており、同社の香港オフィスはこの地域におけるさらなる商機への足がかりとなることでしょう。中国本土が徐々に外国企業に開放される中、香港は同社のような国際的企業を北アジア市場にナビゲートするための重要なプラットフォームであり続けると、Wettstein氏は考えます。

大湾区市場の顧客と保険会社の架け橋となるフィンテックを駆使したプラットフォーム

香港はWesuranceにとって理想的な場所だと感じています。世界クラスのビジネス環境、優れた財務・経営サポート、確立された技術インフラが、イノベーションとグローバル規模のビジネスを後押ししてくれるからです。

大湾区の人々の保険に対する需要の高まりは、すべてのフィンテック関連のプラットフォームに利益をもたらすと信じています。



Eddie Chang
Founder & CEO, Wesurance

Wesuranceは消費者と保険会社を繋ぎ、誰もが簡単に、利用しやすく、安価な保険に加入出来るようにすることを目的に、2017年に設立されたスタートアップ企業です。このミッションを達成するために、同社はフィンテックの強力なバックグラウンドと、情報・技術およびアプリケーション開発分野での経験を活かしています。同社は現在、イギリス、シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、香港で事業を展開し、香港に8名、深圳に7名、

イギリスに4名のスタッフを擁しています。

先進的な保険技術に支えられて

WesuranceのFounder & CEOであるEddie Chang氏は、「保険を探すのはお客様の仕事ではありません」と述べています。同社は保険業界に特化したアジア有数のフィンテック企業として、先進技術を取り入れ、すべての保険事業者のために世界で最もシンプルなデジタル保険加入ソリューションを構築することに尽力しています。すべての保険事業者がデジタル化のためのリソースを持っている訳ではなく、そのようなシステムにお金を払うことに抵抗があることも同氏は理解しています。同社のソリューション重視のソフトウェアは、あらゆる規模の保険会社がデジタルビジネスを拡大し、消費者と保険会社の両方に利益をもたらす新しいビジネスモデルを模索し、顧客体験と満足度の向上を支援しています。同社の代表的なデジタル製品である「Digital Transformation Express」(DTX)は、保険会社が保険事業を拡大するために必要なすべての要素を提供します。DTXは様々な国の何百もの保険会社と消費者を、ビジネスアプリケーションをプログラムする単一のインターフェースの下で繋ぎます。同氏は、香港が同社にとって理想的な場所だと感じています。世界クラスのビジネス環境、優れた財務・経営サポート、確立された技術インフラが、イノベーションとグローバル規模のビジネスを後押ししてくれるからです。

香港：接続性がカギ

香港は世界的な国際都市として、大湾区の中核になる位置に居ると、Chang氏は見えています。香港は大湾区、アジア、そして世界と比類ない繋がりを持つ都市です。

広深港高速鉄道(XRL)は、香港と大湾区内の他都市との移動時間を大幅に短縮しました。また、香港珠海マカオ大橋の開通により、近年は越境旅客輸送が急増しています。インフラ強化により、香港と中国本土の近接性はさらに向上し、大湾区市場へのアクセスも容易になりました。このことは、Wesuranceが香港で重要な事業を展開する上での大きな要因となっています。「大湾区の人々の保険に対する需要の高まりは、すべてのフィンテック関連のプラットフォームに利益をもたらすと信じています」と同氏は述べています。

次のステージに期待すること

Wesuranceのテクノロジーにこだわった成長戦略にとって香港での設立は、大湾区市場への参入という野望だけでなく、技術開発においても重要なステップとなっています。

Chang氏は大湾区のフィンテック環境全体を肯定的に捉えています。フィンテック企業が香港の規制当局に何を期待しているのかについても指摘しています。「香港はユニークな場所です。金融イノベーションは、規制当局が特に注意を払わなければならない分野であり、油断してはいけません。新しい商品や手法が既存の規制の効果を鈍らせたり、市場や金融機関に予期せぬリスクをもたらしたりしないようにする必要があります。香港にある法の支配は私のビジネスと家族を守るだけでなく、フィンテック分野の発展を支援する規制も守るのです」

ライフスタイルと

クリエイティブ産業

企業は急速に変化する消費者行動と、この変化により長期的に生じる自社の戦略や収益への影響に対応することに苦戦しています。中国の国内市場と消費者行動の高度化のおかげで、高品質のライフスタイル関連製品とサービスに対する需要は依然として増加しています。特に大湾区市場では、可処分所得が高い人口と多様なニーズを持つ購買層が約束されています。



なぜ香港なのか？

香港経由で大湾区における商機をどう捉えるか？

香港：東西を結ぶ国際文化交流の拠点

香港は中国本土およびアジア太平洋地域へのゲートウェイとして機能しています。香港特別行政区政府は、中国と西洋の文化が融合した香港独自のクリエイティブな雰囲気を活かし、香港をアジアにおける文化と創造性の都市として位置付けています。

香港は新しい文化的地位を確立するために、以下の5つの方法で取り組んでいます。¹：

1. 世界的な文化施設とダイナミックな文化環境の整備
2. 海外の芸術・文化機関との連携強化
3. 中国本土との文化交流・協力の強化
4. テクノロジーの活用
5. 才能の育成

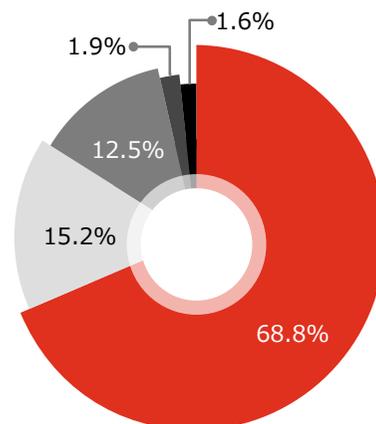
文化・クリエイティブ産業

(Cultural and Creative Industries: CCI)

香港の文化・クリエイティブ産業は、創造性と知的資本を主要なインプットとして展開し、文化的、芸術的、創造的な内容の商品やサービスを提供する一連の知識ベースの活動から成り立っています。香港には芸術・文化、デザイン、メディア、エンターテインメント、ゲーム、広告、映画、音楽、その他、様々な分野の多国籍クリエイティブ企業が集まっています。

2019年の香港のGDPに対するCCIの貢献度は以下の通りです²：

- 付加価値額**1,293億香港ドル**は香港のGDPの4.7%に相当
- 香港の総労働力の6.2%に相当する**23万7千人以上の雇用を創出**
- **5,713億香港ドルの輸出**（特定の文化・クリエイティブ品目）は輸出総額の14.3%に貢献



- オーディオビジュアル・インタラクティブメディア製品
- ビジュアルアーツ&デザイングッズ
- 舞台芸術・祝祭用品
- アンティーク・伝統工芸品
- 出版物

[1] 行政長官による2021年施政方針演説

[2] 統計局 “The Cultural and Creative Industries in Hong Kong, October 2021”

[3] Art Basel Hong Kong 2021 開催報告書



香港のクリエイティブ産業の詳細について：「クリエイティブ産業と成長を促すドライバー」

https://www.hketotyo.gov.hk/japan/jp/business/invest/links/pdf/IHK_pitchbook_01.pdf



国際的な文化・クリエイティブ産業の中心地である香港では、毎年多くの国際見本市やイベントが開催され、文化交流の促進に繋がっています。以下はその事例です。



<https://www.bodw.com/en>

- 「Business of Design Week」(BODW) は、デザイン、イノベーション、ブランディングに関するアジアを代表するイベントで、香港で毎年開催
- 優れたデザインを促進・賞賛するインタラクティブなデザインナレッジのプラットフォーム。香港内外のデザインコミュニティが刺激されて参加
- デザイントレンドに関する最新情報、クリエイティブリーダーや新進気鋭のデザイナーへの独占インタビューなど、普遍的な価値を提供するアジアを代表するオンラインデザインポータル



<https://www.artbasel.com/hong-kong>

- 「Art Basel Hong Kong」は香港で毎年開催。香港および海外から著名なギャラリーが参加し、フェア期間中は幅広い作品を展示し、あらゆるレベルの市場において好調なセールスを記録。³



<https://www.mplus.org.hk/en/>

- 「M+」は西九龍文化地区の一角に開設。アジア初となる現代ビジュアル文化の世界的な美術館として、ビジュアルアート、デザイン、建築、動画等を、アジアを中心とした複数の場所から集めて展示しており、クリエイティブでインタラクティブな体験が味わえる。M+の建物は33のギャラリーやその他の展示スペースを有する。

なぜ香港なのか？

香港経由で大湾区における商機をどう捉えるか？

小売・eコマース

香港は国際的なブランドのショーケースとして、またグローバルな調達拠点として知られており、消費者市場やグローバルサプライチェーンで重要な役割を果たしています。極めて効率的な物流と通関サービス、ほとんどの商品に消費税と輸入税がかからないこと、最高品質のデザインと創造性、高いスキルを持つ調達、小売、IT分野の労働力により、香港の小売とeコマース産業は繁栄しています。



「**広東・香港・マカオ大湾区発展計画綱要**」では、この地域は教育、文化、観光、社会保険などの分野で協力を深めるべきであるとされています。また、質の高い公共サービスを提供し、住みやすく、ビジネス環境に優れ、アクセスしやすい、質の高い生活圏を共同で創造する必要があります。これにより、ライフスタイルに関連する産業への膨大な需要が創出されます。より革新的なサービスソリューションとGBA市場向けのカスタマイズされた顧客体験が勝因となります。中国本土で進行中の「消費アップグレード」政策は、重要な商機を提供するでしょう。



Michael Cheng

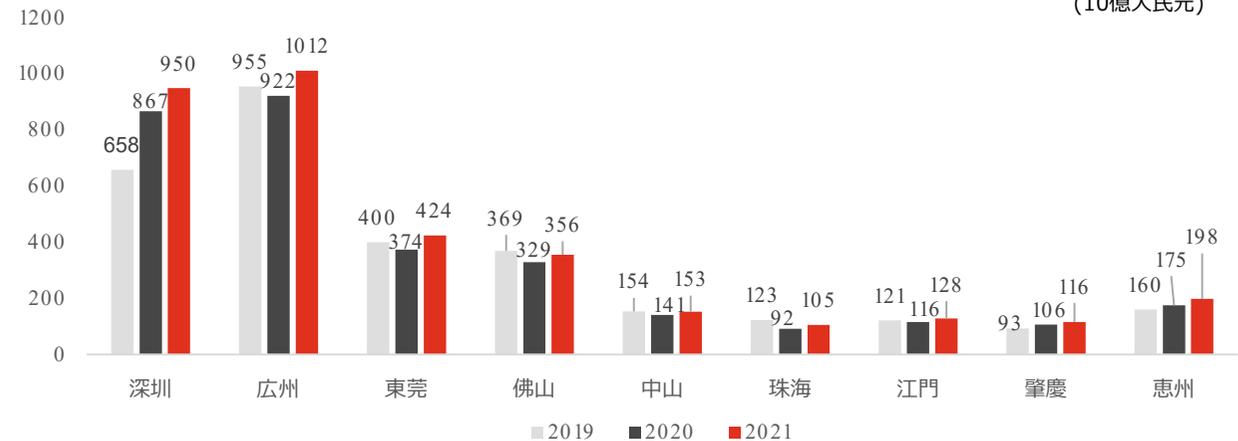
Consumer Markets Leader
Asia Pacific, Mainland China and Hong Kong, PwC



中国本土の大湾区都市は、GDP、購買力、消費財の小売販売額ともに中国本土において最大で、活気ある消費市場です。今後、香港の企業は境界線のないシームレスな世界のネットワークと繋がるだけでなく、大湾区の強い経済力からも恩恵を受けることができます。

2021年度 大湾区都市における消費財の小売販売額

(10億人民幣)



出所：大湾区各都市の統計局

大湾区の消費者の関心事：



パーソナルイメージ
の向上



スマートなライフ
スタイルの追求



日々の娯楽
の充実



価格よりも
品質重視



健康意識
の高まり

出所：香港貿易発展局

- 香港を経由すれば、中国本土の消費者に簡単にアクセスでき、世界中の顧客が潜在的な購買者に成り得る
- 香港を経由して中国本土に進出する際には様々なモデルがあり、成功するためには最適なモデルを選択することが重要

なぜ香港なのか？

香港経由で大湾区における商機をどう捉えるか？

香港は、企業が中国本土での商機を捉えるのに最適なロケーションであり、他の大湾区都市の得意分野を活用する上で主導的な立場にあります。

香港：深圳で行われる研究開発のIPハブおよび上場拠点

深圳と東莞の研究開発と試作能力は、企業が革新的なソリューションを開発するために活用されています。その際、香港の堅固な法制度が企業の知的財産を保護するのに役立っています。また、金融サービスにおける香港独自の優位性は、企業が株式公開を選択する際に、国際的な認知度と資本を得るのに役立ちます。

香港：調達・貿易センター

大湾区は世界でも有数の製造業の中心地です。大湾区の製造業において専門知識を有する香港企業は、その知識を活用しようとする国際的な投資家や企業にとって理想的なパートナーです。

香港：大湾区におけるユニークな物流ネットワーク

香港の自由港としての地位と、世界最高水準の通関手続きは持続可能で、トランジットタイムを短縮する上でとても有利です。特に、香港が開始した「Single eLock Scheme」(SELS) は、貨物の積み替えの流れを迅速化し、大湾区との間の越境通関の合理化を実現しています。

香港域内の倉庫で製品を保管するメリット

eコマース市場の急速な発展に伴い、中国本土は「48時間配送」の時代に突入しました。中国本土の消費者の高い要求に応えるため、海外ブランドはラストマイルデリバリーを実現するための倉庫・配送センターを中国本土内または香港等、その近くに設置する必要があります。

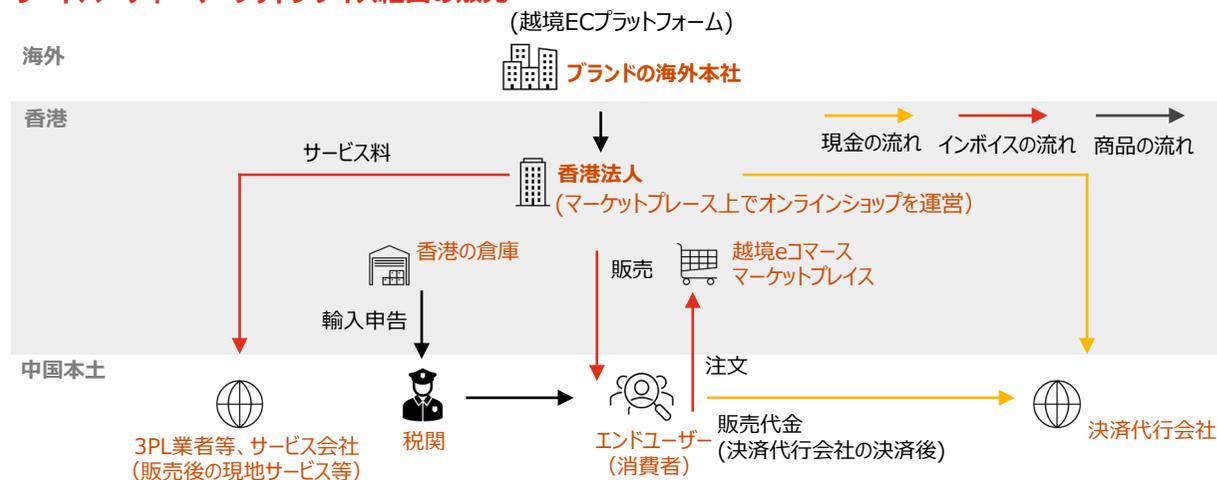
香港はeコマースを通じて、中国本土への迅速、スムーズ、かつシンプルなアクセスを提供

中国本土でB2Cの越境eコマースを行うために香港に会社を設立すると、比較的自由的な市場アクセスが可能になり、国際的なeコマース大手企業と同様の運用効率と能力を持つエンドツーエンドのパイプラインが得られます。特に中国本土の越境eコマース取引政策とサードパーティーマーケットプレイスを活用する香港企業には、次の利点があります。

- 中国本土に法人や店舗を設置・運営するためのコストと時間を削減 - サードパーティーマーケットプレイスと連携する香港企業をマーチャンダイザーとして活用
- 中国本土での各種ライセンス（インターネットコンテンツプロバイダーライセンスなど）の取得に伴う煩雑さの軽減
- 中国本土へのアクセスの迅速化（通関、輸入、返品手続きの要件緩和等）
- 中国本土の輸入税の軽減による競争力の強化（例：適格eコマース輸入品に対する関税0%、消費税0%、通常の輸入付加価値税率30%オフ）

以下は中国本土でeコマースを行う際の一般的なビジネスモデルの1つです。

サードパーティーマーケットプレイス経由の販売



香港のeコマースの詳細について：
「消費者向け製品：アジアにおけるeコマースのゲートウェイ、そしてその先での成功を目指して」

https://www.hketoty.gov.hk/japan/jp/business/invest/links/pdf/IHK_pitchbook_02.pdf



なぜ香港なのか？

香港経由で大湾区における商機をどう捉えるか？

観光

大湾区の各都市は、観光サービスの革新と発展を促進し、より多様な旅行体験を提供するとともに、香港経由で大湾区に旅行する訪問者を増やすことを目指しています。

- 香港にはレジャー、レストラン、エンターテインメントの豊富な観光名所や店舗が存在。218軒のミシュランの星付きレストラン（2021年現在）と数百件に上るホテルが、あらゆる価格帯の料理やスタイルを提供
- 香港域内外を問わず、多くの小旅行やツアーが存在し、国際航空線、クルーズ、高速鉄道、陸路移動等、様々な手段で香港から多くの目的地に旅行することが可能
- 香港ユネスコ世界ジオパーク、漁村や古い町並みには多くの観光客が訪れ、自然の荒々しい海岸線や古代の地層等を見学
- 大湾区の都市の中でもマカオはカジノや素晴らしい景色で有名。また、珠海市の横琴区は観光、展示会、文化交流の分野でマカオと連携。中国本土の大湾区の都市には、香港から2～3時間で行ける観光地が豊富に点在

食品

香港は食の都として有名で、香港、大湾区、そしてそれ以外の地域的美食家の舌を満足させています。国際都市である香港には、様々な国の料理があると同時に、グルメを楽しむ高所得の地元住民や優れたサービス文化があります。また、交通インフラも整っているため、新しいコンセプトの飲食店を展開するには理想的な場所です。

2020年の香港の外食産業データ¹：

外食産業の総収入
1,143億香港ドル

産業の付加価値額
310億香港ドル

- **飲料食品貿易**：簡素な税制、優れたコールドチェーンロジスティクス、倉庫インフラ、効率的な通関システム等の恩恵を享受可能
- **グリーン・イーティング**：飛躍的に成長する可能性を秘めており、持続可能な植物由来の食習慣が実現可能
- **デジタル・フードデリバリー・プラットフォーム**：インターネットインフラが整備され、消費者が多様な食文化を形成している香港では、高い人気

[1] 香港特別行政区統計局：“Key Statistics on Business Performance and Operating Characteristics of the Import/Export, Wholesale and Retail Trades, and Accommodation and Food Services Sections in 2020”



香港のフードサービスの詳細について：

https://www.hketoty.gov.hk/japan/jp/business/invest/links/pdf/IHK_pitchbook_03.pdf



なぜ香港なのか？

香港経由で大湾区における商機をどう捉えるか？

過去数十年にわたり、香港は絶えず進化を続け、貿易ビジネスにとって世界トップクラスの都市であることが証明されています。サプライチェーンに関する専門知識の蓄積、中国本土や近隣のアジア諸国に近い地理上の戦略的立地、そして利用可能な洗練されたインフラにより、アジア太平洋地域における新たなビジネスチャンスの開拓・拡大を目指す多国籍企業のゲートウェイとして、香港は最適な位置にあります。

品質、敏捷性、柔軟性、そして世界最大級の調達・物流企業の地域拠点として世界的に高い評価を得ている香港は、増え続ける大湾区での取り組みとそこでの成功を促進し、加速させるために有効活用されるべきです。



Jenny Tsao

Consumer Markets Tax Leader
Mainland China and Hong Kong, PwC

スポーツ

香港では毎年、以下のような多くの国際的スポーツの大会が開催されています。

- The Hong Kong Marathon
- Track Cycling Nations Cup Hong Kong
- The Hong Kong Sevens (ラグビー)
- The FIVB Volleyball Nations League
- The Hong Kong Open (ゴルフ) 他

また、香港はトレイルランニング、サイクリング、ウォータースポーツなどのアウトドア活動の人気スポットでもあります。数多くのスポーツクラブや国際スポーツ協会が香港に拠点を置き、スポーツトレーニングやコーチング等、充実した関連サービスを推進しています。香港ではあらゆる種類のスポーツを楽しむことができます。

香港初の大規模な多目的スポーツ・エンターテインメント複合施設「カイタックスポーツパーク」(KTSP)は2023年のオープンを予定しています。メインスタジアムは5万人収容可能で、香港では最大級の規模です。この施設はあらゆる種類のエンターテインメント、ライブイベント、フェスティバルの機会を提供し、香港におけるエンターテインメントコンテンツとこれまでにない新しい体験を期待する需要に応えます。

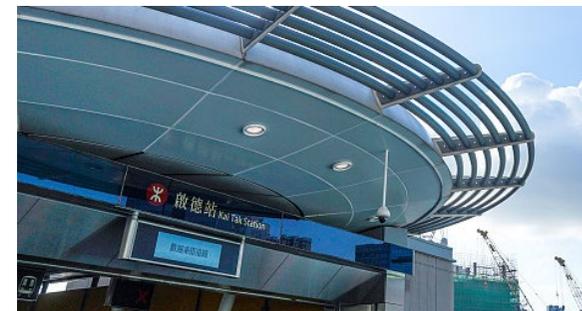
広東省、香港、マカオは2025年に第15回全国大会(国体)を共催します。大規模なマルチスポーツイベントの開催に向けて大湾区各都市との連携を深め、地域の市民のより良いライフスタイルを促進します。

ウェルネス

香港と大湾区の富裕層は、ヘルスケア、美容、高齢者サービス、グリーンなライフスタイル、スピリチュアル等のウェルネス製品やサービスに対して高いニーズを持っています。香港の消費者は新しい体験を受け入れ、高品質の製品やサービスにはプレミアム価格を支払うことも惜しみません。また、香港のトレンドは中国本土の消費者行動にも良い意味で影響を与えています。例えば、国際企業は中国本土市場への進出を検討する前に、香港でマーケティングを行うことで中国人消費者のニーズを理解することが可能です。

香港で新しいウェルネス市場のエコシステムが出現するにつれ、新しいビジネスはシードファイナンスとそれに続く幅広い資金調達が必要になります。香港は自由経済圏であり、企業は多くの金融機関やビジネスパートナーから様々な資金調達の支援手段を見つけることができます。また、香港でのIPOは、多くのヘルステック企業を含む世界中の企業にとって人気のある選択肢となっています。

 香港経由でのGBAの観光の詳細について：
<https://www.discoverhongkong.com/anz/greater-bay-area.html>



ケーススタディ：香港貿易発展局（HKTD） 「GoGBA」で、企業の成功への道を切り開く

大湾区で6年以上過ごしています。どの都市にもそれぞれの魅力があり、ここで働き、暮らすことを楽しんでいます。どの都市が自分や自分のビジネスに適しているかは、足を踏み入れてみないと分からないものです。



Mandy Ng
HKTDC Regional Director,
Southern China

香港：双方向のグローバル投資およびビジネスの拠点

香港貿易発展局（HKTDC）は香港の貿易を促進、支援、発展させるために1966年に設立された法定機関です。中国本土の13か所を含む世界50か所にオフィスを構え、香港を双方向のグローバル投資およびビジネスの拠点として推進しています。深圳と広州にオフィスを構える同局は長年にわたり、広東省と香港の協力を促進してきました。中国中央政府による大湾区発展戦略の発表に伴い、広大な大湾区市場への参入を希望する企業へのサポートを強化するため、同局は様々なプログラムやプラットフォームを用意しました。

GoGBA：ビジネス支援のためのワンストッププラットフォーム

企業による大湾区（GBA）でのビジネスをサポートするため、HKTDCは「GoGBA」サポートプログラムを立ち上げ、GoGBAのウェブサイトとGoGBAのWeChatミニプログラムを通じて、規制、手続き、ネットワークに関する有益な公式情報を提供しています。GoGBAのWeChatミニプログラムでは公共サービスの最新情報、地図、交通機関、そして中国本土への入境者の滞在日数カウンター等のツールも提供しています。また、現場でのサポートを提供するため、同局は深圳オフィスにサービスセンターを設置している他、大湾区の主要都市および自治体の組織と提携し、GoGBAビジネスサポートセンターを通じてアドバイスや関連ビジネス情報を提供しています。

T-box × e-Commerceソリューション：「HKTDCトランスフォーメーション・サンドボックス」（T-box）は中小企業支援プログラムで、企業の競争力を強化し、ブランディングやeコマース、新規市場、製造・サプライチェーンソリューション等の分野で変革目標の達成を支援します。

広東省民間企業国際化プログラム：中国本土企業のグローバル化を支援するため、HKTDCは広東省の企業が香港というプラットフォームを通じて海外に投資し、ビジネスを展開できるよう支援します。

HKTDCデザインギャラリーは香港、中国本土の大湾区9都市、その他の中国本土および主要なASEAN市場における実店舗およびオンライン店舗のネットワークを通じて、香港から製品のブランドとデザインを促進しています。物流面でのサポートとして、大湾区および中国本土市場へのアクセスにおける物流上の問題解決を支援する「**ConsignEasy**」というサービスも用意しています。

香港のDNA：コネクター兼インテグレーター

「中国の第14次五カ年計画の『双循環戦略』は、香港を国際的なイノベーションとテクノロジー、アジア太平洋地域における国際的な法律と紛争解決、地域の知的財産取引、そして中国と海外の間の文化交流の各拠点として位置付けています」と、HKTDCのSouthern China担当Regional Directorを務めるMandy Ng氏は語ります。

「香港は常に、技術移転と情報交換の主要な場であり、これはどの世界的なハブエリアにとっても重要なことです。つまり、香港が大湾区を主要な科学技術イノベーション回廊にするために貢献できるということです。さらに、国際的に認められた仲裁・紛争解決メカニズムに支えられている香港の法制度により、国際企業はその知的財産が保護されることを確信できるのです」と同氏は続きます。

大湾区を体験

香港は大湾区や中国本土の市場への理想的な足がかりとなるため、Ng氏は世界中の起業家や才能ある人々に香港への投資を奨励しています。「香港は中国文化と国際的な多様性のどちらにも親しんだ素晴らしい場所であり、世界中の国際企業がビジネスを始めるに相応しい場所です。計画的な交通システムの建設により、香港と他の大湾区都市間のアクセスは1時間以内となりました。大湾区を探索し、実際に体験すれば、必ず素敵なサプライズが待っていることでしょう。このダイナミックな地域のユニークな特徴への理解をさらに深めるために、HKTDCが主催するオンラインイベントや大湾区におけるミッションツアーへのビジネスコミュニティの皆さまの参加を歓迎します」と同氏は述べています。

GoGBA WeChat
ミニプログラム



GoGBA WeChat
公式アカウント



アジアにおけるフレンチグルメ体験のニッチな市場で一步先んじる

香港と中国本土においてフランスのパティスリーの本物の味を紹介し、高級グルメ体験を普及させることを目的に、Younes一家は2010年に香港でPaul Lafayetの旗艦店となる1号店をオープンしました。当時、香港の高級パティスリーは一部の5つ星ホテルに限られていました。

この10年で、同社は劇的に事業を拡大しました。現在、香港に9店舗、深圳と上海に4店舗の専門店を構え、合計120名のスタッフを擁しています。

オープン初日から香港と大湾区に注目

1990年代、ヨーロッパとアジアを往来していたYounes一家は、香港と中国本土において高まる商機に着目していました。当時も今も、中国本土でのビジネスを目指す起業家にとって、香港は最初の訪問先と考えられています。Paul LafayetのFounder兼CEOであるToni Younes氏も同じ考えで、香港市場には身近な高級フランス菓子店が参入する間隙があると見ていました。彼は直ぐに決心をし、2010年に尖沙咀（チムサーチョイ）のK11アートモールにPaul Lafayetの旗艦店となる1号店をオープンしました。

オープン初日から、同氏とその息子でCo-Founder兼Business Development ManagerのChristophe Younes氏は、香港と中国本土の消費者のためにチェーン店を作りたいと考えていました。10年以上の開発期間を経て、同社は香港に9店舗、中国本土の深圳と上海に4店舗の専門店を構えるまでになりました。マカオ、深圳、広州を含む大湾区には、Paul Lafayetの中国本土進出計画の一環として、コロナ禍による入境制限が解かれ次第、さらに10～15店舗の専門店をオープンする予定です。

香港：大湾区に商品を提供するセントラルキッチン

焼き菓子は傷みやすいため、商品を目的地に早く届けることが重要です。Paul Lafayetのフランス人シェフたちは、厳格な品質基準と独自の市場ポジションを維持するため、職人技を駆使して新鮮なペストリーを毎日製造することが求められます。同社は中国本土の市場により広く参入するため、大湾区の中でも比類なき立地にあり、強固なインフラと効率的な輸送ネットワークを持つ香港を大いに活用し、香港のセントラルキッチンから地域内に焼き菓子を配送しています。これにより、新たなキッチンを設置する必要がなくなるとともに、品質管理もしっかりと実施できるようになりました。「香港から深圳やマカオまで1時間で行けるので、直接配送することができます。これは香港を拠点とする大きなメリットです」とToni Younes氏は語ります。

嗜好の変化が本格的焼き菓子の商機に

現在、Paul Lafayetには香港に86名、中国本土に34名の計120名のスタッフが在籍しています。セントラルキッチンには2人のフランス人シェフが常駐し、フランス菓子作りのノウハウを香港の現地チームに伝え、同社のペストリーの信頼性を確保しています。製菓のノウハウは事業の生命線であるため、同社はフランス人シェフと各チームを香港と中国本土の間で行き来させ、定期的にトレーニングを行っています。

創業当初、インベスト香港は同社を香港のモールデベロッパーなどに紹介し、1号店の開店を支援しました。さらに、様々な現地パートナーを紹介することで、そのパートナーたちがイベント開催を通じて同社のブランドを香港



大湾区の強固なインフラと効率的な輸送ネットワークを活用し、香港のセントラルキッチンから大湾区内に焼き菓子を配送しています。これにより、新たなキッチンを設置する必要がなく、品質管理もしっかりと実施できています。



Toni Younes
Founder and CEO, Paul Lafayet

市場で紹介し、他の定評ある高級ブランドと比肩する存在に押し上げました。これらの強固な関係を基に、同社は現在、香港から大湾区、さらにその先へと事業を拡大する態勢を整えています。

ケーススタディ：株式会社乃村工藝社 企業空間でカルチャーを創造する

様々な文化が交錯し、新たな文化が生まれる大湾区が、世界中の関心を集めることは疑う余地がありません。グローバル都市である香港の発展に関わることは、私にとって貴重な財産です。



株式会社乃村工藝社 香港支店長
杉村宣哉氏

株式会社乃村工藝社は美術館等の文化施設や、公共エリア、商業施設、企業のショールーム、そして展示会やイベントの空間を創造してきました。近年では、パフォーマンス空間やデジタルコンテンツ制作も手掛け、企画・設計から施工に至るまでのサービスをワンストップで提供しています。

香港で35年以上の歴史

乃村工藝社の香港支店は1985年に設立され、1892年創業の日本の本社が直轄で管理しています。

同社は2004年に香港を窓口として中国本土に現地法人の乃村工藝建築装飾（北京）有限公司を設立し、北京、上海、成都、深圳に地域オフィスを展開しています。

長年にわたり、香港支店は日本の本社や顧客とのコミュニケーションを容易にすること以外に、香港の便利な立地と環境を中国本土市場へのゲートウェイとして機能させています。特に、中国本土でプロジェクトを進めている現地の顧客とシームレスにコミュニケーションを取るには、香港の立地は戦略的に理想と言えます。

香港のクリエイティブ産業のためのネットワーク

現在、乃村工藝社の香港支店には7名、中国の現地法人には約100名のスタッフがいます。同支店のリソースは香港から深圳や広州等大湾区内の地域に事業を拡大することに注がれており、最終的には日本で提供している内容と同じ幅広いサービスを大湾区の顧客にも提供できることを目指しています。

クリエイティブ産業に対する香港の環境も、同社にとっては確実にプラスになっています。同社は香港のクリエイティブ産業関連の交流イベントや知識交換に積極的に参加し、業界関係者と密接な関係を築いています。

香港のユニークなビジネス環境とリソースにより、同社はより新しい体験を創出し、香港と大湾区全体の企業や文化的なブランドの価値を高めています。

大湾区の新たな商機と可能性

乃村工藝社の顧客の多くは大湾区が持つ可能性を認識しており、同市場に参入または事業を拡大している

最中にあります。ワンストップサービスを提供する空間創造企業として、同社の日本の本社にある設計チームは、大湾区における企画と設計サービスの受注増を期待しています。

香港と中国本土間の移動が制限されている現在では特に、同社の深圳オフィスの存在が報われました。深圳オフィスのスタッフは、現地の建設規則に従い設計業務を行うことが可能です。このように日本、香港、中国本土とグローバルにスタッフを配置していることは、同社の事業にとって大きなアドバンテージとなっています。

商業空間の創造は同社の得意分野であり、大湾区での事業展開の出発点の1つと位置付けています。香港では日清食品からの委託を受け、尖沙咀の「カップヌードルミュージアム 香港」プロジェクトの企画、インテリアデザイン、建設、そしてデジタルコンテンツ制作を担いました。乃村工藝社が創る商業空間は、売り買いをする単なるマーケットプレイスではなく、顧客にブランドメッセージを伝え、コミュニケーションを図る企業のPR施設のように機能しています。このプロジェクトの完成をきっかけに、同社の大湾区での活躍の場が広がっています。

コロナ禍において、同社はゼロから空間を創造するだけでなく、空間を活性化し顧客を惹きつけるため、物理的空間に何が必要かという議論を活発に行い、その能力を発揮してきました。日本のクリエイティブチームとスペシャリストたちは、企画段階から香港支店と協業し、様々な角度から空間を作り上げ、その空間でしか味わえない体験や価値を提供しています。

デザインおよび事業拡大の中心地としての香港

Michael Young Studio (MYS) はブランドロゴやマーケティンググラフィックスのデザインから、世界各地の展示会でのディスプレイ、ヨーロッパおよびアジアにおけるブランドショップのデザインまで、多様なポートフォリオでクライアントに合った製品をデザインしています。MYSは香港に本社を置き、ベルギーに駐在員事務所を持ち、現在は深圳市蛇口にオフィスを開設する手続き中です。

悔いのない早期決断

2006年にMichael Young氏が来港し、スタジオを開設したとき、彼はすでにヨーロッパおよび日本で14年間の経験を積んでおり、デザイナーとしての地位を確立していました。同氏は国際的な事業展開を望んでおり、ビジネス上の意思決定をするのに最適な場所を探していました。それから15年が経ち、同氏のビジネスは香港で驚異的な成長を遂げました。同氏は洗練されたミニマリストとして業界で知られるようになり、そのエレガントで無駄のない美しいデザインは高く評価されています。多くの若手デザイナーや地元企業に刺激を与え、数々の国際的なデザイン賞を受賞しました。

MYSには明るい未来が待っているでしょう。デザインビジネスをサポートする簡潔なシステムが開発され、小売ビジネスに参入するための会社Michael Young Retail社を設立するためのジョイントベンチャーが検討されています。この小売会社は、デザインとeコマースを組み合わせたデザインビジネスの追加部門となります。MYSは、eコマースビジネスをサポートするためのリソースの再構築と並行して、香港でブランドの確立をさらに強化するためのしっかりとした10カ年計画を持っています。

香港：国際的な拠点

これまでの長い年月と同様に、MYSは今後も香港を拠点として、継続的にグローバルプランとデザインイノベーションに取り組んでいく予定です。香港は常に芸術的な変化と産業の再設計が行われている場所であり、デザイン業界の多くの人々を刺激しています。さらに、香港の税制に対する現実的なアプローチと、試作に前向きなアジアのメーカー各社へのアクセスが容易な点も、MYSにとって魅力的な要素です。Young氏によると、アジアのメーカー各社は新しい手法で自ら何か創出できると証明することに情熱を持っており、多くの奇想天外なデザインを創作しています。また、香港という街自体もインスピレーションに満ちています。香港の色彩、質感、建築物の多様性からは常に刺激を受け、デザイナー同士の繋がりや試みからは活力を享受できます。MYSは香港のクリエイティブな環境に後押しされ、最も高度で革新的な製造スキルを活用することで、デザインを超越した作品を創出しています。これらすべてが事業を成功へと導きました。

大湾区の新たな商機と可能性

Young氏によれば、大湾区の広大な規模はMYSとデザイン業界全体にとって有望な未来をもたらすとのことです。MYSが、この地域のより多くのクライアントにサービスを提供するため初めて深圳オフィスを開設することの他に同氏は「深圳国際産業デザインフェスティバル2020」のキュレーターとアートディレクターを務めました。同イベントはデザイン業界の名だたるプレーヤーを集めて意見交換やコラボレーションを行う場であり、新世代の変化や革新を促すことのできるビジョンを推進し、デザイン業界の未来を形作るものでした。



“ 今後も香港に住み続けるつもりです。香港は、私のデザインビジネスにとって最も素晴らしい拠点の一つであることに変わりはありません。 ”



Michael Young
Director, Michael Young Studio



航空関連産業

中国本土経済の着実かつ急速な発展は、航空交通量に反映されています。この成長は今後も続き、航空関連ビジネスのあらゆる分野で大きなチャンスを生み出すでしょう。香港国際空港は貨物取扱量において、2010年から2019年まで連続して世界一を記録し、2021年にも再び世界一になりました。香港は国際的な航空ハブとしての地位を確固たるものにしようと注力しています。中国本土との優れた接続性と、大湾区の各都市との連携の深化は、この地域の経済と貿易を活性化させています。この航空関連ビジネスの世界で、商機をしっかりと掴んでいますか？

なぜ香港なのか？

その地理的優位性、経営面での専門知識、そして航空業界における豊富な人材より、香港は広範な国際航空ネットワークを構築し、香港国際空港(HKIA)が国際的な航空ハブとなるための基礎を築いています。航空キャパシティを増やすための第3滑走路の建設はHKIAの競争力を強化するための戦略的投資です。このプロジェクトは「都市の空港」から「空港都市（エアポートシティ）」への転換を実現する重要なインフラプロジェクトでもあります。第3滑走路は2022年中の供用開始を予定し、新ターミナルを含めたプロジェクト全体の完成は2024年を目指しています。また、香港空港管理局は空港の効率性と、乗客の総合的な利便性を向上させるための様々なプロジェクトに取り組んできました。この地域における越境eコマースの急速な発展に鑑み、これらの取り組みは幾つものハイエンドな物流プロジェクトと共に、全速力で進められています。



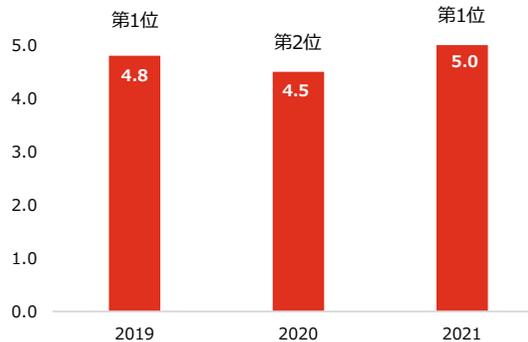
2021年にHKIAが獲得した賞

- ワールド・トラベル・アワード「アジアのリーディングエアポート2021」
- 国際空港評議会（ACI）「Airport Health Accreditation（空港衛生認証）」
- 航空国際研究学会（ATRS）「アジアで最も効率性に秀でた空港」
- ACIアジア太平洋「ゴールド認定（年間搭乗者数2,500万人以上の部）」

出典：HKIAウェブサイト

現在、大湾区には7つの民間空港が稼働しています。その内、HKIA、広州白雲国際空港および深圳宝安国際空港を合わせると、2020年の旅客数は約1億149万人、貨物取扱量は771万トン超に達しました。**HKIAは2010年から2019年まで連続して貨物取扱量で世界一になり、2021年も500万トン超で再び世界一になりました。**

2019-2021年のHKIAの航空貨物の総取扱量（百万トン）と世界ランキング



出典：HKIAウェブサイト、国際空港評議会(ACI)

HKIAの主要データおよびパフォーマンス

| | |
|--------------------|------------------|
| 離着陸処理能力 | 航空貨物取扱量 |
| ピーク時で 1時間あたり68便 | 2021年は 500万トン |
| 就航都市 | 空港敷地面積 |
| 世界220都市 | 1,255ヘクタール |

HKIAは地域の交通ハブ

- 5 HKIAから5時間以内のフライトで世界人口の半分に到達可能
- 9 HKIA隣接のフェリーターミナル「スカイピア」から大湾区の9港に30～90分で移動可能
- 110 HKIAから中国本土の110以上の都市に直通バスで移動可能
- 300 HKIAと大湾区の間を送迎するリムジンサービス「スカイリモ」では約300車両が利用可能

出典：HKIAウェブサイト



香港経由で大湾区における商機をどう捉えるか？

“

大湾区における航空交通量は飛躍的に増加することが予想される一方、地理的に近接しているため、5つの主要空港間の競争は激化しています。大湾区内の空港間連携が航空交通量の増加を効率的に管理する鍵となるでしょう。急増する航空交通量に対応するため、空港の拡張プロジェクトは必須になるでしょう。

香港は2017年に航空機リース事業向けの減税策を導入し、その競争力を強化しました。この減税策の下、適格リース事業者と適格リース管理事業者は、通常の法人税率の半分である8.25%が適用されます。航空業界のエコシステムは良好な状態にあります。



Spencer Chong
China Tax Markets Leader PwC China

”

堅調な需要に後押しされ、大湾区の航空産業の発展には大きな可能性があります。そのため、急増する航空需要に対応するため、中国政府は2025年までに、大湾区に世界屈指の空港クラスターを建設することを目指しています。

3つの主要な国際ハブ空港（香港・広州・深圳）はグローバルゲートウェイとして、大湾区の空港インフラ全体の発展において主導的な役割を果たしています。さらに、マカオ国際空港と珠海金湾空港もそれぞれ旅客数1,000万人級大規模空港となりました。

湛江、仏山、惠州、揭陽、梅州などの空港も急速に発展している最中です。2022年に供用開始予定の香港国際空港の第3滑走路、広州白雲国際空港の2020年の第2ターミナル完成と2025年までに完了予定の第3ターミナル拡張計画、そして粵西国際空港の建設など、多数のプロジェクトが進行中、またはまもなく完了する予定です。民間航空インフラの開発はスピード感をもって進められ、新たな高みへと到達しています。広東省は広州・深圳・香港を中心に東西800km以上にわたって広がっています。中小規模の空港が分散して位置するため、3つの主要な国際ハブ空港にかかる国内線の利用圧力がある程度緩和されています。またそれは、同地域に本拠地を置く航空会社の成長を後押ししています。

現在、大湾区の中小空港は利用率が低く、国内線の大手航空会社もあまり就航していません。中国政府はAdvanced Regional Jet for 21st Century (ARJ21)の普及に多大な支援を行っていますが、事実、大湾区には地域航空市場の成長を促進するための良好な環境が整っています。

フルスピードで発展する大湾区の航空関連ビジネス

広東省政府が発表した「広東省一般空港計画2020-2035（廣東省通用機場布局規劃 2020-2035年）」によると、2025年までに広東省内の空港の数を既存の空港を含め32港にし、その密度は1万平方kmあたり1.8港に達する予定です。さらに、2035年までには、大湾区に57港になり、その密度は1万平方kmあたり3.2港に達する計画です。

中国国家郵政局による所信表明には、大湾区における郵便産業の発展と航空郵便サービスの充実を図るため、2035年までの様々な目標が掲げられています。

政策の中には、大湾区内の都市間における郵便サービス連携の深化、コールドチェーン保管施設のさらなる設置、複合一貫輸送ネットワークの整備、そして国際郵便サービスの迅速化政策などが含まれます。

中国国家発展改革委員会が発表した「大湾区における都市間鉄高速道建設計画に関する承認」では、2025年までに4,700km、さらに2035年までには5,700kmに及ぶ鉄道ネットワークを大湾区において構築し、県レベル以上の都市の100%をカバーする都市間高速鉄道プロジェクトが進行中であることが発表されました。

関連産業の成長促進

航空会社は資本および技術集約型のビジネスであり、そこには広範なオペレーションチェーンと多くの補完的なビジネスが存在します。大湾区に存在する多数の航空会社とその発展は、この地域の成長を様々な形で牽引するでしょう。第一に、旅客の流れや貨物ロジスティクスを集約させることで輸送における需要に対応し、その結果、消費が創出されます。第二に、投資や融資の機会が増え、資本の流れが強化されます。これは、航空機リース、航空機の修理と整備、地域の航空訓練、航空貨物の取り扱い、海運、港湾の開発と物流、そして技術訓練など、様々な分野での雇用機会を創出することになります。最後に、関連するサービスや製造業の発展も促進されます。

航空機リース事業で商機を掴む

香港と広州市南沙区の航空機リース税制は、よく整備されていて革新的です。航空機リース会社、航空業界向けファンド、航空機向け投資銀行、そして資産管理会社などの投資事業体は、この競争力のある税制と大湾区がもたらすグローバル取引へのアクセスから利益を得ることができるでしょう。

大湾区におけるロジスティクスと航空に関するより詳細な情報は：



世界有数の航空ハブ、香港国際空港

香港空港管理局（AAHK）の役割

AAHKは香港政府が100%出資する法定機関です。1995年に設立されたAAHKは、香港国際空港（HKIA）の運営と開発に責任を負っています。HKIAは世界220以上の都市を結び、総合的な航空ネットワークを有する世界有数の空港の1つです。AAHKのCommercial部門のExecutive DirectorであるCissy Chan氏は、「中核となる航空旅客と貨物事業に加え、商業、小売、ホスピタリティ、会議、展示会など、HKIAのその他の幅広いサービスは、国際航空ハブおよび世界有数のビジネスハブとしての香港の地位強化に貢献しています」と述べています。

香港国際空港（HKIA）の競争力

1996年以来、国際貨物処理能力で世界一に君臨し続けるHKIAは、世界で最も忙しい空港の1つです。2020年、HKIAは450万トンの貨物を処理しましたが、これは香港の対外貿易総額の約43%、金額ベースでは3兆5,000億香港ドルに相当します。2021年には貨物総処理量は500万トンに達し、前年比12.5%増と、こちらも過去最高を記録しました。「現在では、より多くの航空貨物が高い市場価値を有し、専門的な取り扱いを必要とします」とChan氏は付け加えます。

「HKIAは優れた接続性と高い効率性でよく知られています」とChan氏は続けます。アジアの中心に位置する香港は、世界人口の半分に5時間以内のフライトで容易に到達することが可能です。新型コロナウイルスのパンデミック前は、HKIAには120社の航空会社が就航し、中国本土の50都市を含む世界220都市に就航していました。また、HKIAの最先端の貨物処理施設には、高度に自動化された処理システム、24時間体制で施設内で提供される電子通関サービス、そして熟練した作業員が存在し、迅速かつ効率的な航空貨物処理を可能にしています。

HKIAは国際航空運送協会（IATA）から「CEIV Pharma」および「CEIV Fresh」の認証におけるパートナー空港として認定されています。「これは、温度管理された医薬品や生鮮品の貨物の輸送と取り扱いにおけるHKIAの優れた能力を証明するものです。効率的で専用の施設とサービスは、世界的に保証された基準の下、厳しく温度管理された手順で提供されています」とChan氏は説明します。

HKIAのキャパシティと機能性を強化する「大湾区ブループリント」

2019年には、約1,400万人の大湾区の旅客が海外との間をHKIAで乗り継ぎました。大湾区の旅客に加え、同区の国際航空貨物の4分の3がHKIAで取り扱われています。「香港珠海マカオ大橋（HZMB）完成後、HKIAから珠海までの移動時間は4時間から45分に短縮されました。現在、AAHKは珠海空港も管理しており、内陸部の空港から珠海空港とHZMBを経由して、より多くの旅客をHKIAの国際線に接続することを目指しています。同時に、珠海との協力関係を強化することで、HKIAの航空貨物サービスをより広い内陸部市場へと拡大することができるでしょう。これら新しいビジネスの源は、HKIAのビジネスパートナー、特に航空会社や物流業界に利益をもたらすでしょう」

「東莞にHKIAロジスティクスパークを設立する予定ですが、これもまた重要な投資です」とChan氏は説明を続けます。「HKIAに建設される新しいエアサイド貨物埠頭と合わせて、まったく新しい貨物ビジネスの形態を生み出し、HKIAでの貨物取扱量を増やし、そして航空輸送業界の成長エンジンとして機能させることを目指しています。新施設の稼働により、中国本土からの輸出品についてはセキュリティチェック、パレット積み、貨物の引き取りを東莞で行った後に、海上輸送で直接HKIAの制限区域内にある貨物埠頭に搬送し、そこから世界各地へ積み替え空輸することが可能になるでしょう。中国本土への輸入の場合は、商品はHKIAの制限区域から東莞に直接輸送することができるでしょう」

「エアポートシティ」のブループリントは、大湾区における航空ハブとしての香港の役割を強化することを目的としています。香港国際空港（HKIA）は、世界クラスの幅広いサービスを提供すると同時に、香港と大湾区の接続性を高め、HKIAを新たな目的地に変貌させるインフラを開発します。



Cissy Chan
Executive Director, Commercial, Airport Authority
Hong Kong

新しい空港都市、新しい商機

待望の「エアポートシティ」開発は次のような内容です。3本の滑走路システムで2035年までに12億人の旅客と1,000万トンの貨物の輸送需要予測に対応、新しいオフィスビルやホテルを備えた35万平方mを超える小売、ダイニング、エンターテインメントの複合施設を建設、アジアワールド・エキスポの拡張で10万平方mの展示エリアと2万人収容の香港最大の屋内スタジアムを併設などです。「巨大な大湾区市場から生み出される膨大な商機を掴むため、積極的に準備しているのです」。Chan氏は大湾区市場への参入を計画している国際企業に対し、香港とエアポートシティの利点を活用するよう奨励しています。

ケーススタディ：China Aircraft Leasing Group Holdings Limited

航空機リース拠点としての香港

China Aircraft Leasing Group Holdings Limited (CALC) は、香港証券取引所に上場し、世界の航空会社にワンストップでフルライフサイクル・ソリューションを提供する企業です。



付加価値の高いサービスプロバイダー

China Aircraft Leasing Group Holdings Limited (CALC) は2006年に設立され、香港に本社を置きます。アイルランド、マレーシア、シンガポールおよび中国本土にオフィスを構え、米国とフランスにはデリバリーセンターも有し、従業員数は150名を超えています。またCALCは、IT人材の宝庫である深圳に、ITインフラ開発のためのオフィスも開設しています。

CALCは新造航空機のリースと、老朽化した航空機の解体およびリサイクルという、2つを主な事業分野としています。CALCの通常の事業範囲は、航空機のオペレーティングリース、購入とリースバック、そしてストラクチャードファイナンスです。それ以外にも、フリートプランニング、フリート交換パッケージ取引、航空機の解体および部品販売など、付加価値の高いサービスも提供しています。

航空ハブおよび国際金融センターとしての香港の強み

CALCは香港の地場リース会社として、香港の「スーパーコネクタ」としてのユニークなポジションを活用し、航空機の取引やファイナンスにおいて中国国内と海外の両方でビジネスができる特権を享受しています。「アジアの航空市場にビジネスと取引がますます引き寄せられる中、香港のリース拠点としての役割は、これまで以上に期待できると考えています。新型コロナウイルスのパンデミックから中国本土が回復すれば、この地域は数年後に世界最大の市場として台頭するでしょう。この見通しは、中国政府からの支持に加え、『一国二制度』に基づく香港の競争優位性、国際航空ハブとしての香港の戦略的地位、そして大湾区への国際ゲートウェイとしての香港の地位を支持および強化する政策によっても、さらに確実なものとなります」と、CALCのCEOであるMike Poon氏は述べています。

航空機ファイナンスおよびリース業界における香港の強みを生かす

香港は航空金融業界における新しい税制の導入に大胆に踏み切りました。エクイティファイナンスとデットファイナンスのための洗練された金融プラットフォームにより、航空機リースとファイナンスのリーディングハブとしての地位を、香港は確立しつつあります。

「今後、中国本土の国内および国際航空市場が急速に拡大する中、将来の航空市場において香港には大きな発展の機会があると見ています。付加価値の高いリースサービス提供へのニーズに加え、様々な航空機ファイナンス商品の開発ニーズもあるからです。この潜在的に利益を生むビジネスを獲得するために、香港と中国本土においてより多くの航空機ファイナンス業者が現れることを期待しています」とPoon氏は語ります。

中国本土が航空市場をリードする

中国（広東）自由貿易試験区の南沙新区を含む中国本土の多くの地域において、航空機ファイナンス事業を行うプラットフォーム企業やプロジェクト企業には、一連の金融優遇措置やサポートが提供されています。そこでCALCは、広州産権交易所（GEMAS）が運営する公的なプラットフォームにおいて「入札、競売、上場」という方法で、古い航空機ポートフォリオの最初のクロスボーダー取引を完了させました。

中国本土の航空産業の今後の成長の勢いについて、中国国内の航空需要の急速な回復が、同国の経済的活力と回復力を浮き彫りにしているとPoon氏は指摘します。「2040年までに、中国本土に存在する航空機の数は1万機近くに達し、単一の民間航空市場としては世界最大になるでしょう」と、Poon氏は続けます。一方でボーイング社は、今後20年間で中国は約1兆8,000億米ドル規模の商業航空サービス市場を創出すると予測しています。「我々はパンデミック期間中に、世界の大手航空会社から新旧航空機が多様なソリューションへの需要が高まっていることを確認しました。CALCは航空機のプロフェッショナルなワンストップサービスにより、お客様である航空会社を引き続きサポートしていきます」とPoon氏は付け加えました。

結論として、航空会社はより強く、よりスリムなバランスシートを求めています。投資家はより効率的で安価な資金調達を必要としています。リース会社はより簡単なマーケティング構造を探しています。政府は持続可能な成長のために、販売奨励金に重きを置いたビジネスモデルからの脱却を望んでいます。イノベーションの必要性和機会は明白であり、それは航空機リースとファイナンスにおいてだけでなく、航空業界のほぼすべての側面において存在するのです。



大湾区でビジネスの可能性を切り拓く： よくある質問と設立のヒント

Q1：大湾区の都市の優位性を活かす一般的なビジネスモデルとは？

大湾区の各都市は、それぞれ特徴的な位置付けにあります。資源（人材、土地、資本、技術、インフラなど）の有無や生産コストは、都市によって異なります。企業は、ビジネスニーズと各都市の競争優位性をマッチさせる立地調査を行い、地域の人材や資源を動員するための新しい働き方を模索し、新しい市場の獲得と新しいソリューション創出のため、大湾区の貿易、金融およびサービスの自由化政策を活用できます。代表的なモデルとして、以下のようなものがあります。

香港



貿易・調達拠点
財務拠点

1



上場拠点、知的財産管理拠点
本社機能

2



地域本部
サービス拠点

3

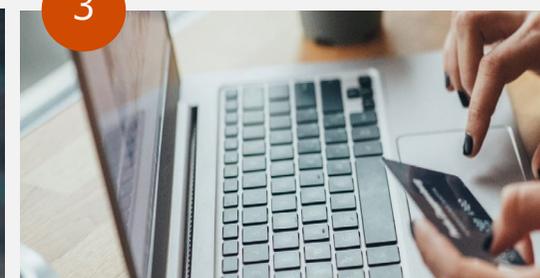
大湾区の
中国本土
の都市



製造拠点



研究開発、イノベーションセンター



シェアードサービス拠点
データセンター

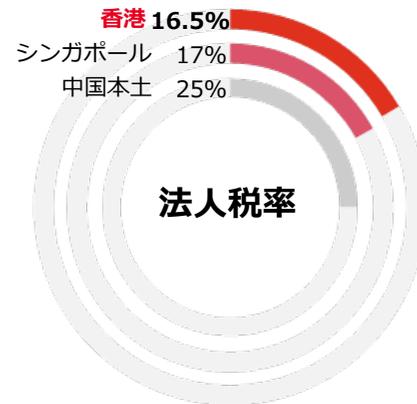
Q2：なぜ香港なのですか？ 香港で会社を設立するにはどうしたらいいですか？

香港での会社設立手続きは、迅速かつ簡単で、設立コストも低く抑えられます



- 香港はビジネスのしやすさランキングで世界190の国・地域の中で**3位**
- 香港は起業のしやすさランキングで世界190の国・地域の中で**5位**

- 1 事業体の種類を決定（例：有限責任会社、支店、駐在員事務所、パートナーシップ、個人事業主）
- 2 社名を決定。1名以上の取締役が必要だが、香港の非居住者でも取締役に選任可能
- 3 会社登記所（Companies Registry）と商業登記所（Business Registration Office）に必要書類を提出。後者はオンライン申請も可能
- 4 会社設立証明書と商業登記証を入手
- 5 特定の業種や製品については、必要な許認可を取得



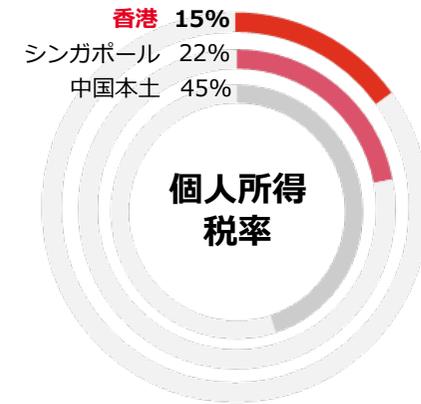
2段階の法人税率

16.5%

200万香港ドル超の課税所得

8.25%

最初の200万香港ドルまでの課税所得



域内源泉所得課税方式

香港を源泉としない所得は課税免除となる（オフショア所得など）

シンプルな税制

全てなし

- ・ キャピタルゲイン課税
- ・ 相続税
- ・ VAT/消費税
- ・ 配当金および利子にかかる源泉徴収税

Q3 : 香港にはどのような政府の補助金や助成金がありますか？

長年にわたり、香港特別行政区政府はビジネス環境を改善するための施策を実施しています。イノベーションから業務改善に至るまで、企業の様々な目標の達成を支援しようと、政府の多様な資金支援制度が設けられてきました。これらの制度の大半は、香港で会社条例に基づき法人設立または登記されていることが利用の主な要件です。香港で提供されている政府の補助金や助成金は40種類以上あります。右記は、最もよく申請される、あるいは適用できる制度の一部です。助成金や補助金は香港政府によって随時拡充されますので、常に最新の情報を入手することをお勧めします。



Dorothy Lee
Partner, Operations Excellence
Solutions, PwC Hong Kong

ブランディングおよび域内販売促進基金 (BUD)

目的：

この制度は、海外でのマーケティングと販売の拡大や、業務の効率化と生産性の向上を図る企業を対象としています。

概要：

- ・ 1社あたり600万香港ドルまでの資金支援
- ・ 企業と政府が折半で資金を拠出
- ・ プロジェクト期間は24ヶ月以内

科学技術証票プログラム (TVP)

目的：

この制度は、生産性の改善やビジネスプロセスの向上または変革につながるテクノロジーサービスやソリューションの購入を検討している企業を対象としています。

概要：

- ・ 1社あたり60万香港ドルまでの資金支援
- ・ 政府3：企業1の割合で資金を拠出
- ・ プロジェクト期間は12ヶ月以内

政府の資金支援制度を申請するには、何を準備すればよいのでしょうか？

企業は、当該制度の適格要件を満たしていることを確認する必要があります。申請の裏付けとして、申請者は投資対効果検討書、プロジェクト計画書（取得するリソースや支出のための予算など）および香港での事業実態を証明する書類を提出しなければなりません。各制度の目的に沿った特定の基準を満たすよう、申請書類は慎重に作成する必要があります。

企業支援計画 (ESS)

目的：

この制度は、香港で研究開発を行う企業を対象としています。研究開発に関する費用（人件費、設備費、その他の直接経費など）を申請できます。

概要：

- ・ 1プロジェクトあたり1,000万香港ドルまでの資金支援
- ・ 企業と政府が折半で資金を拠出
- ・ プロジェクト期間は24ヶ月以内

再工業化助成計画 (RFS)

目的：

この制度は、スマート生産ラインの新設を検討している製造業の企業を対象としています。

概要：

- ・ 1プロジェクトあたり1,500万香港ドルまでの資金支援
- ・ 政府1：企業2の割合で資金を拠出
- ・ プロジェクト期間は24ヶ月以内

もっと詳しく知りたい方はこちら

StartmeupHKのウェブサイト
この他に企業がよく利用する政府の資金支援制度の詳細は、こちらをご参照ください。



Q4: 海外からの人材受入れにおいて、香港にはどのような制度がありますか？

香港は、ビジネスフレンドリーな入境政策を採用しています。そのため、170以上の国や地域からの訪問者は、香港へのビザなし入境と最長180日までの滞在が可能です。また、特定分野の優秀な人材、専門家と起業家を対象に、香港で居住または就労できる様々な人材受入れ制度があります。以下は、外国人に最も関係の深い3つの制度です。

一般就業政策 (GEP)

起業家

香港でビジネスを立ち上げる、またはビジネスへの参入を計画する海外の起業家で、香港経済に大きく貢献できる場合、GEPに基づいて入境申請できます。

政府の支援プログラムに参加するスタートアップ企業の設立、またはそのような企業への参画を予定する起業家は、申請の審査が有利になります。

申請が許可された場合は通常、入境時から香港で就業することを前提に、最初の24ヶ月間、滞在が許可されます。

専門家

海外の専門家で、香港にとって価値のある特別な技能、知識または経験を持ち、香港ですぐには見つけられない人材は、GEPに基づいて就労を申請できます。GEPは**申請の許可数に上限がなく、産業分野を限定しません**。

申請が許可された場合は通常、入境時から香港で就業することを前提に、最初の24ヶ月間、または香港での雇用契約期間のいずれか短い方の期間の滞在が許可されます。トップクラスの専門家は、より緩やかな条件での滞在が認められることもあります。

優秀人材入境計画 (QMAS)

QMASは、香港に定住を希望し**高度な技術や才能を持つ人材**を対象としています。QMASは産業分野を限定せず、申請が許可された場合、香港への入境前に就業先が確定している必要はありません。

一般ポイントテスト (GPT) の上位得点者はより緩やかな条件での滞在が認められることがあります。また、アチーブメント (実績) 基準ポイントテストの合格者は、入境時から8年間の滞在が認められます。

特定技術優秀人材入境計画 (TechTAS)

TechTASは、海外および中国本土の特定技術分野での優秀な人材に、香港で**研究開発業務**に従事してもらうため、申請適格企業に対して**迅速な審査**を行うものです。適格企業はまず、人数割当ての申請を行う必要があります。

グローバル人材の誘致

香港の人材プールについてもっと知りたい方は、インバスト香港のウェブサイトをご覧ください。



その他の制度

その他にも、中国本土出身の専門家、香港の大学を卒業した海外出身者や香港に家族のルーツがある人などのための入境制度もあります。

もっと詳しく知りたい方は [こちら](#)

香港入境事務所 (イミグレーション) のウェブサイト - 香港の入境制度に関する詳細は [こちら](#) をご覧ください。



ビザの申請が許可された場合、十分な資金と適切な住居を有することを前提に、配偶者と18歳未満の扶養家族を帯同できます。配偶者や扶養家族の滞在制限は、ビザ保持者と同じです。

Q5：中国本土で事業を立ち上げるにはどうしたらいいですか？

近年では会社設立の手続が以前よりずっと簡略化されています。



- 中国本土での会社設立は、現地の市級政府主管当局に登録を申請する必要があります。具体的な手続は地域によって差異がある場合があります。

- 1 事業体の種類^(注1)、事業経営の範囲、登録資本金と通貨、所在地等を決定
- 2 商号検索で商号を事前登録、監督管理局に商号の事前認可を申請^(注2)
- 3 所在地の市場監督管理局^(注3)に申請書類を提出し、認可取得後に営業許可証を受領
- 4 会社印鑑を作成^(注4)
- 5 税務局、税関、銀行等で登記を行い、銀行に法人口座を開設
- 6 特定業種の営業許可証や免許の取得^(注2)

注意事項：

1. 外国出資者によって設立される事業体の種類は、中国本土で従事する事業の種類や、取引上および規制上の要因に応じて、通常は次の3種類です。
(1) 代表処（事業の範囲が海外本社のための連絡活動のみに限られます。日本の駐在員事務所に該当）(2) 外商独資、中外合資、中外合作、股份有限公司等の有限責任会社 (3) パートナーシップ
2. 開業前の許可や認可、または開業後の許可証および営業免許の取得は、業種によっては関連する許可書類の申請や取得が必要になる場合があります。
3. 認可権限のレベルは、投資規模3億米ドル超または特殊業種に該当する場合には、上級（省級または国家級等）の市場監督管理局の認可が必要になります。
4. 会社印について、企業は必ず会社印を作成しなければなりません。法的文書、商業契約等の重要文書は、これを押印することによって法的効力が生じます。

| 中国本土における有限責任会社の設立や運営についてよくある質問 | |
|---|---|
| 株主の最低（人）数要件は？ 最低登録資本金の要件と払込期限は？ | 1（名） なし（会社経営に実際に必要となる運営資金によって決まってくる） |
| 董事の最低人数要件は？ | 董事会を設置しない場合は最低1名、設置する場合は最低3名 |
| 現地常駐董事の要件はあるか？ | なし |
| 事業経営の範囲に制限はあるか？ 事業経営の範囲を明記しなければならない書類はあるか？ | 制限あり。登記される事業経営の範囲は国家市場監督管理総局の規定に従う。事業分野によっては外国投資家の参入が制限または禁止されている（詳細は「市場参入ネガティブリスト（2022年版）」、「外商投資安全審査弁法」等、関連法規を参照）  「市場参入ネガティブリスト（2022年版）」 |
| 国家市場監督管理総局に登録すべき会社人員は？ | 法定代表者（1名）、董事、監事、総経理、最終支配者 |
| 執務場所の所在地に関する要件は？ | 登録所在地と営業所在地が一致すること |
| 財務諸表の作成に関する要件はあるか？ 外部監査人による監査を義務付けられているか？ | 税務申告の根拠資料として財務諸表の作成が必要。外商投資企業の財務諸表は外部監査人による監査を要する |
| 毎年手続が必要なコンプライアンス要件にはどのようなものがあるか？ | (1) 年度申告、(2) 税務申告、(3) 従業員の社会保険料および住宅積立金の納付 |
| 会社登記および監督管理事項について使用が認められる正式言語は？ | 中国語のみ |

Q6：中国本土で会社を設立するために準備するものは何ですか？

中国本土における適切な事業体の形態を選択する

- 駐在員事務所、全額出資の外国企業持分法適用会社、提携会社、その他
- 提案する事業活動や出口戦略の法的要件と実現可能性のチェック

株式保有および資金調達構造の計画

- 法律、税務、資金調達、商業的な影響を考慮し、場合によっては財務予測を作成する

必要な役員および法定代理人の選任

- 取締役、監査役、法定代理人、本部長、財務担当者、税務担当者等
- 各役割の責任とコンプライアンス（就労ビザ、滞在許可証、税金、社会保険、住宅積立金など）を理解する

ビジネスモデル、取引フローの設計

- 関連者間取引の移転価格の問題を含め、法律、税務、資金調達、商業上の要件を考慮すること

ビジネススコープを設計し、ルールを遵守する

- 指定された事業範囲と設立前または設立後のライセンス要件を確認する

従業員配置の準備

- 現地従業員および駐在員の雇用に関する法的要件、税金、社会保険料、雇用オプションと報酬パッケージの評価

会社の銀行口座開設

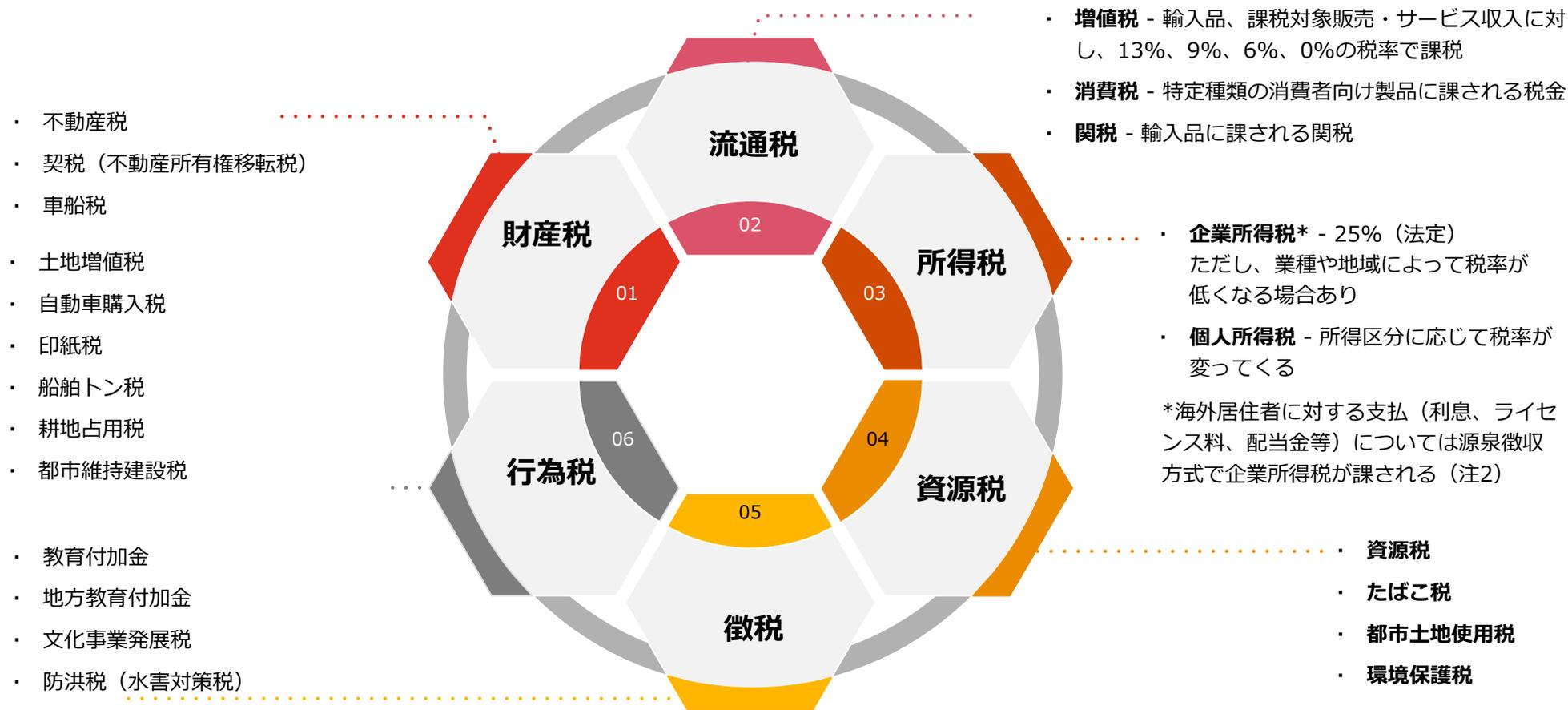
- 基本勘定と資本勘定を含む少なくとも2つの勘定を持つ
- 法定代理人は、一般的な状況下では、本人が銀行に出向くものとする

資産のプロファイルと配置をデザインする

- 土地使用权および建物の取得と関連する法律上および税務上の考慮事項、不動産の賃貸と関連する義務
- 知的財産（IP）の購入、ライセンス、その他の取り決め、および関連する法的・税務的影響、IPの適切な登録と保護

Q7：中国本土の税制はどのような内容ですか？

中国本土の現行税制は、5つのカテゴリーで計18税目あります。その他に付加金（公課の一種）があります。納税申告の他、増値税の発票管理、税金や付加金等の源泉徴収も企業の履行すべき税務上の義務です。以下は最も一般的な税目です（注1）。



注1：企業所得税、増値税および印紙税は、ほとんどの中国法人に課される主要税目となります。個人に対する支払には、個人所得税の源泉徴収義務が生じます。国や地方の政策に応じて、企業は優遇税制を申請することができます。

注2：中国企業が海外の非居住者企業に配当金、利息、ライセンス料を支払う場合の源泉徴収方式による企業所得税の税率は10%です。中国本土非居住者である送金受取人が香港居住者企業であり、かつ対象収入の実質的所有者の条件を満たしている場合、「所得に対する租税に関する二重課税の回避および脱税の防止のための中国本土と香港特別行政区との間の取決め」に基づき、源泉徴収方式による企業所得税について税率の引下げが可能です。

Q8：中国本土にはどのような税制優遇措置がありますか？ 大湾区を投資先に選ぶメリットは何ですか？

企業所得税の優遇措置（概要）

1. 特定業種（軽減税率または免税期間）

- ・ ハイテク企業
- ・ 集積回路設計およびソフトウェア産業企業
- ・ 技術先進型サービス企業
- ・ 環境汚染対策企業
- ・ 公共インフラプロジェクトに従事する適格企業

2. 地域に基づくもの：特定地域に設立され、かつ奨励産業に従事する企業には企業所得税の税率引下げ（15%まで）

- ・ 前海（深圳市）、横琴（珠海市）
- ・ 臨港（上海市）
- ・ 中国西部地区
- ・ 海南自由貿易港
- ・ 平潭（福建省）

3. 条件を満たす小規模零細企業（低税率）

4. 特定種類の収入についての税の減免

5. 研究開発費用の追加控除：実際の発生額の最大200%を企業所得税から控除（すなわち損金算入）することが可能

6. 再編を行う企業は企業所得税の課税繰延の対象となる

個人所得税インセンティブ（概要） （特定種類の課税収入に適用）

1. 大湾区における人材奨励目的の個人所得税補助金

- ・ 2019年1月1日から2023年12月31日の期間に大湾区内の中国本土（広東省）9都市で勤務し、条件を満たす海外（香港、マカオ、台湾を含む）高度人材および希少人材を対象に、香港の個人所得税（15%）の年度負担との差額に対応した補助金を給付

2. その他の個人所得税インセンティブ

- ・ **横琴（珠海市）** および海南自由貿易港：当該地区で勤務する海外および国内の高度人材および希少人材は、実効税率が15%を超える部分について個人所得税の減免を受けられる
- ・ **横琴**：上記の他、横琴で勤務するマカオ住民は、中国本土での個人所得税の実質負担額がマカオのそれを超える場合、個人所得税の免税措置を受けることができる
- ・ 海南自由貿易港：将来的に、海南での居住日数が年度内に183日以上の人材は、総収入額に対する累進税率が3%、10%、15%の適用を受けることができる

増値税の優遇措置

- ・ 条件を満たすサービスおよび販売について、ゼロ税率待遇または免税措置を適用

その他の税制優遇

- ・ 特定種類の取引および納税者が適用対象

香港を中国本土への投資拠点とすることのメリット

- ・ 「所得に対する租税に関する二重課税の回避および脱税の防止のための中国本土と香港特別行政区との間の取決め」（「二重課税防止協定」）に基づき、条件を満たす香港企業が中国本土企業から受け取る配当金、利息、ライセンス料は、源泉徴収方式による企業所得税について優遇税率の適用を受けることができる。「二重課税防止協定」は、その他にも二重課税の問題を解決するための条項を定め、クロスボーダー取引のための税制優遇措置を設けている

注目点

- ・ ほとんどの税制優遇措置は自己査定により適用を受けることができる。ただし、税務機関に対して届出を行い、その審査を受けなければならない優遇措置もある



注1：紺色の文字の部分は、特に大湾区に設立された会社および大湾区に勤務する人材を対象とする優遇税制です。

注2：中国本土の税制優遇政策は頻繁に改定が入ります。上記情報は詳細かつ網羅的に政策をリストアップしたものでなく、主な税制優遇措置の重要ポイントを概説したものであることにご留意ください。

Q9 : 中国本土の大湾区都市においてビジネスを行う企業や人材はどのような便宜措置が受けられるのでしょうか？

1

本部機能奨励政策：地方政府は企業による地域本部、研究開発本部、統括機能本部等の設置を奨励しています。政府補助金を不動産の賃借や購入、拠点設置費用、会社設立等に利用することができます。財政インセンティブは統括本部の経済貢献等の要素と連動しています。

2

産業特定政策：研究開発プロジェクトへの助成、知的財産権の登録に対する財政的奨励、生産設備の高度化や改良への助成、融資利息への助成や低金利融資、上場やM&Aに対する財政的インセンティブ等、特定の分野を奨励するために申請が可能です。

3

多国籍企業政策：一部の都市は多国籍企業の拠点設置を奨励する政策や規則を定めています。例えば、広東省は2021年に新たな外商投資政策を打ち出し、新たに拠点を設置して投資を進める適格の多国籍企業に対し、最高で1億人民元の一括奨励金を給付する旨を宣言しています。

4

人材政策：各種の人材プロジェクト、都市計画の改善、インフラ整備の強化、低賃料住宅の提供、税還付、補助金および非財政的支援等の措置を講じて、地方政府は人材の誘致や定住化に乗り出しています。また、スタートアップ企業や、起業のために人材やチームを呼び込むことへの奨励金や助成金も提供しています。

5

注目点：企業や人材に便宜を図る措置は、各級政府機関（省級、市級または区級）によって公布され、更新や改正が度々行われています。一部の申請手続では、外部報告書によって申請者の財務業績やその他の資格要件を満たすことを証明する必要があります。企業あるいは個人として、最新の規定をフォローアップし、政策措置の適用が受けられるように準備を整えておくことが良いでしょう。

注記：上記リストは網羅的なものではありません。

Q10：大湾区における若い起業家向けのイノベーションおよび 起業支援拠点はどこにありますか？

香港

香港サイエンスパーク

- サービス：インキュベーションの選考を通った起業家に対し、重要な起業スキルの教授や香港のスタートアップエコシステム関係者への紹介、ビジネスモデル設計から投資家へのピッチに至るまでテクニック向上を目指す幅広い研修等を提供。
- ウェブサイト：<https://www.hkstp.org/>

香港サイバーポート

- サービス：人材育成を通じて活気あるスタートアップエコシステムを構築し、若い人材に起業家精神を奨励し、香港内外のパートナーとの提携関係を育み、公共部門と民間部門における新旧経済を統合。
- ウェブサイト：https://www.cyberport.hk/en/about_cyberport/about_overview

マカオ

マカオ青年創業インキュベーションセンター

- サービス：専門的なコンサルティング、トレーニング、ガイダンス、専門家によるアドバイス、ロードショーでのマーケティング、投資家とのマッチング、その他、起業家向けサービスと24時間利用可能なシェアオフィスを提供。
- ウェブサイト：<https://myeic.com.mo/en/>

東莞

常平科技园

- 優秀なスタートアップ企業への運営資金のサポートとマンツーマンでのコーチング等の提供。
- ウェブサイト：<http://www.gd-dongke.com.cn/>

佛山

佛山市創業孵化示範基地

- サービス：回転利用型かつ循環発展型の起業家インキュベーションプラットフォームを提供し、産業発展向けの起業家プロジェクトを育成。
- ウェブサイト：<https://fsdbei.com/portal/d/site/article/5018.html>

広州

華南新材料創新園

- サービス：物理的拠点、投融資サービス、技術研究開発、政策措置適用申請、起業家研修、展示交流、事業サービス、リクリエーションと生活サポートからなる8つの起業向け機能プラットフォームを提供。
- ウェブサイト：<http://www.huaxinpark.com/>

惠州

惠州仲恺港澳青年創業基地

- サービス：ワンストップ型のビジネスサービスを提供。質の高いビジネス生態系の構築、産業資源のマッチング、ビジネス交流会等の開催。
- ウェブサイト：https://720yun.com/t/d5vkuhpwgdmscene_id=42968987

江門

江門ハイテク区創業創新総合サービスプラットフォーム

- サービス：科学的かつ技術的成果の普及、革新的で独立した企業の育成、市場資源の統合活用、起業および財務コンサルタントサービスの提供。
- ウェブサイト：<http://jmgxq.com/>
- 江門啓迪之星科技企业孵化器
- サービス：体系的な企業支援サービスの提供、スタートアップ企業のための起業家フォーラムの開催、業種に特化した産業加速化活動。
- ウェブサイト：<https://www.tusstar.com/>

深圳

前海深港青年夢工場

- サービス：会計と法務サービス、研修、資金調達とマーケティング用プラットフォーム等の起業向けサポートを通じてスタートアップ企業の成長を加速。
- ウェブサイト：<http://ehub.hkfyg.org.hk/index.php?language=eng>

深圳市留學生創業園

- サービス：経済的基盤、起業コーチング、融資、人材紹介、交流研修、マーケティング、経営コンサルティング、プロジェクト推進、ネットワーキングとコミュニケーション、その他サービスの提供。
- ウェブサイト：<http://www.szchuangye.com/>

肇慶

肇慶市港澳青年創新創業基地

- サービス：質の高いスペース、企業サービス、起業家インキュベーションの他、スタートアップ企業への投融資サービス、国際的な人材向けの住宅、教育、医療サービス等の提供。
- ウェブサイト：<http://www.zqbib.com/>

中山

中山市易創空間創業孵化基地

- サービス：無償ワークスペース、ビジネス支援、政策指導、融資担保、特許申請、事業プロジェクトの展示活動、ビジネスサロンやフォーラム、プロジェクトのロードショー等を提供。
- ウェブサイト：<http://epark.dreamcreation.cn/>

珠海

横琴・マカオ青年創業バレー

- サービス：研修、ロードショー、融資、交流、提携サービス等の提供、人材交流とマッチングプラットフォームの構築、ハイエンド資源の統合実現。
- ウェブサイト：<http://www.innovalleyhq.com/cyg/park/index>

QRコードをスキャンして関連情報を参照してください。

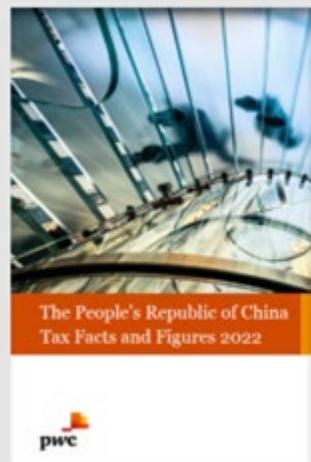
2022-23年度 香港税務資料およびデータ



スキャンしてより詳細な情報を参照



2022年度 中華人民共和国税務資料およびデータ



スキャンしてより詳細な情報を参照



お役立ちリンク集



インベスト香港について

インベスト香港（香港投資推進局）は、香港への対内直接投資を推進する香港特別行政区政府の専門部局です。経済的、戦略的に重要な海外企業および中国本土企業による香港への投資を誘致し、アジアをリードする国際ビジネスと金融の中心地としての香港の地位を奨励かつ強化することを使命としています。

インベスト香港には、様々な重要産業分野の専門チームがそろっています：ビジネス・専門サービス、消費財・小売、クリエイティブ産業、金融サービス、フィンテック、イノベーション&テクノロジー、接客サービス・旅行産業、運輸・インフラ・先進製造業

また、インベスト香港の海外ネットワークは、世界31の主要ビジネス都市にスタッフやオフィスを持っています。



計画：産業分野別アドバイスの提供をはじめ、ビジネスチャンス、事業コストのモデル、会社設立の手続き、規制や法律など、香港のビジネス環境に関する最新情報の提供や香港への視察プログラムなどの手配も行います。



始動：クライアント企業の香港でのビジネスの立上げや拡大をサポートするため、無料のプレスリリース発行など、広報活動の支援も行います。

インベスト香港の大湾区ビジネス開発チームは、大湾区各都市の政府部局や産業界の関係者と緊密に連携し、大湾区のビジネス上の利点をアピールするとともに、国際的企業の香港経由での大湾区への進出を支援しています。同チームは、大湾区をテーマとしたビジネスイベントの開催、大湾区の最新動向に関する情報の共有や大湾区の専用ウェブサイト

（www.gba.investhk.gov.hk）の運営を担っています。同ウェブサイトでは、大湾区各都市の投資環境、大湾区における政府の支援政策、成功した企業のケーススタディなどを紹介しています。また、LinkedInを通じて大湾区に関するソートリーダーシップの記事を定期的に発信し、企業が大湾区への理解を深めるお手伝いをしています。

インベスト香港はクライアント企業と長期的な関係を維持すると同時に、香港でのビジネス展開をあらゆる段階でサポートします。サービスは次のものを含み、無料かつ個別対応で秘密厳守します。



拠点設立：サービスプロバイダーなどの紹介、政府関連部局との連絡仲介、適切なビジネスロケーションを見つけるアドバイス、そして香港への移住の支援など、クライアント企業のビジネスの立上げをお手伝いします。



事業拡大：ネットワーキング機会やビジネスマッチングサービスの提供、研究開発助成金やその他の政府の資金支援制度に関するアドバイスなど、クライアント企業の香港でのビジネスの発展を継続的に支援します。

インベスト香港の
大湾区専用ウェブサイト：



インベスト香港の
ウェブサイト：



David Wong

Head of Greater Bay Area Business Development, InvestHK

Tel: +852 3107 1494

Email:

DavidWong@InvestHK.gov.hk



PwCについて

PwCについて：中国本土、香港特別行政区およびマカオ特別行政区

PwCは中国本土、香港特別行政区およびマカオ特別行政区において、現地で適用される法律を遵守しながら協力して事業を進めています。PwCには800人以上のパートナーと20,000人以上の職員がいます。

顧客の所在地にかかわらず、私共はプロフェッショナルなサービスを提供しています。リテラシーが高く、豊富な経験を有するPwCの専門職員が異なる観点に耳を傾け、顧客の業務における問題の解決に尽力すると同時に、顧客のニーズを認識し、それに最大限に応えています。PwCの専門性は、顧客が関係する分野において、顧客と共にソリューションを創造することを可能にしています。

PwCの幅広いネットワークは、香港、マカオ、広州、深圳、珠海、北京、長沙、成都、重慶、大連、貴陽、海口、杭州、合肥、済南、昆明、南京、寧波、青島、上海、瀋陽、蘇州、天津、アモイ、西安、武漢、無錫、鄭州で展開しています。

PwCの大湾区における発展

PwCは大湾区において、8000人以上の専門職員を有すると同時に、香港、マカオ、深圳、広州、珠海にオフィスを設けています。PwCの大湾区ワーキングチームは、政府による様々な取り組みや政策草案の研究作業に参加し、特にスマートシティの建設、ビジネス環境の向上、越境貿易および金融イノベーションの促進といった分野で大湾区の発展にサービスを提供し、力を注いでいます。私共は企業の大湾区における発展のために、立地研究、サプライチェーン分析、M&A機会の探求、効率的な投資構造およびビジネスモデルの構築を含む、包括的なソリューションを提供しています。

PwCのサービス

2021年、PwCは「フォーチュン・グローバル500」の内、420社に上る業界の核心的企業に監査、審査評価、コンサルティング、取引と税務に関するサービスを提供しました。

420

「フォーチュン・グローバル500」の内、PwCのサービスを利用している企業数



監査及び審査評価



税務



取引サービス



スタートアップ企業向けサービス



イノベーションセンター



管理コンサルティング

PwC香港のウェブサイト:



PwC中国の大湾区専用ウェブサイト:



Charles Lee

South China (incl. Hong Kong) Tax Leader, PwC
Tel: +852 2289 8899
Email: charles.lee@cn.pwc.com



Charles Chan

Hong Kong Tax Partner, PwC
Tel: +852 2289 3651
Email: charles.c.chan@hk.pwc.com



Rebecca Wong

China Tax and Business Advisory Partner, PwC
Tel: 86 (755) 8261 8267
Email: rebecca.s.wong@cn.pwc.com



お問い合わせ先

David Wong

Head of Greater Bay Area Business Development, InvestHK
Tel: +852 3107 1494
Email: DavidWong@InvestHK.gov.hk



Charles Lee

South China (incl. Hong Kong) Tax Leader, PwC
Tel: +852 2289 8899
Email: charles.lee@cn.pwc.com



Charles Chan

Hong Kong Tax Partner, PwC
Tel: +852 2289 3651
Email: charles.c.chan@hk.pwc.com



Rebecca Wong

China Tax and Business Advisory Partner, PwC
Tel: 86 (755) 8261 8267
Email: rebecca.s.wong@cn.pwc.com



インベスト香港のウェブサイト: www.investhk.gov.hk



インベスト香港のウェブサイト:
www.investhk.gov.hk/



インベスト香港の大湾区専用ウェブサイト:
www.gba.investhk.gov.hk/



PwC香港のウェブサイト:
www.pwchk.com



PwC中国の大湾区専用ウェブサイト:
www.pwccn.com/en/research-and-insights/greater-bay-area.html

インベスト香港 東京事務所

香港経済貿易代表部
投資推進室 (インベスト香港)
室長 橋場清子
☎ 03-3556-8961
✉ k_hashiba@hketotyو.gov.hk

大阪事務所

西日本コンサルタント 中田武正
☎ 06-4705-7019
✉ tnakata@investhk.com

MEMO

MEMO

免責事項

本書に記載されている情報は、あくまでも一般的な参考情報です。インベスト香港では、情報が最新および正確であることに最大限の注意を払っておりますが、（明示的か暗示的かを問わず）いかなる情報の過ちや欠落、誤表記、誤表示等についての責任は負わず、また、情報の使用や誤用、準拠に起因するいかなる損失や破壊または損害（結果的な損失や破壊または損害を含むがこれに限らない）についても一切の責任や義務を負いません。本書に記載されているすべての情報は、読者自身の責任で評価されるものであり、当該情報に基づいて行動する前に調査し、独立した助言を得ることで検証されるものです。また本書は、特定の企業やサービス提供者による資料や提案事項が、他の企業やサービス提供者より優れていることを暗示的に保証するものではありません。

© 2022年5月 著作権

本稿は、一般事項に関してのみ記述しています。関連する全ての事項について完全に網羅、普華永道コンサルティングサービス有限公司(以下、「PwC」)が提供する法律、税務又はその他専門的なアドバイス、サービスを構成していることを意味するものではありません。本稿の内容に関連して実際に具体的な対応をとられる前に、PwC顧客サービスチーム又は御社のその他の顧問に、御社の状況に応じたアドバイスをお求めになるようお願い申し上げます。本稿/各スライドの内容は、2022年4月30日現在の情報に基づき編集されたものであり、当時取得できる情報を根拠にしています。なお、日本語版は中国語版をもとにした翻訳であり、翻訳には正確を期しておりますが、中国語版と解釈の相違がある場合は、中国語版に依拠してください。

© 2022PwC 無断転載禁止

PwCグループは、PwCネットワーク/個別又は複数のメンバーファームを指します。各ファームは法律上にそれぞれ独立しており、その他メンバーファームの作為又は不作為に責任を負いません。詳しくはHPをご覧ください。
www.pwc.com/



InvestHK

The Government of the Hong Kong
Special Administrative Region

